

(様式第 10)

鹿大病総 第 5 8 4 号
平成 3 0 年 1 0 月 2 日

厚生労働大臣

殿

開設者名 国立大学法人鹿児島大学長
前 田 芳

鹿児島大学病院の業務に関する報告について

標記について、医療法（昭和 23 年法律第 205 号）第 12 条の 3 第 1 項及び医療法施行規則（昭和 23 年厚生省令第 50 号）第 9 条の 2 の 2 の第 1 項の規定に基づき、平成 29 年度の業務に関して報告します。

記

1 開設者の住所及び氏名

住 所	〒890-8580 鹿児島県鹿児島市郡元1丁目21番24号
氏 名	国立大学法人鹿児島大学

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 名 称

鹿児島大学病院

3 所在の場所

〒890-8520 鹿児島県鹿児島市桜ヶ丘8丁目35番1号	電話 (099) 275-5111
-------------------------------	-------------------

4 診療科名

4-1 標榜する診療科名の区分

①医療法施行規則第六条の四第一項の規定に基づき、有すべき診療科名すべてを標榜
2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定により読み替えられた同条第一項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として、十以上の診療科名を標榜

(注) 上記のいずれかを選択し、番号に○印を付けること。

4-2 標榜している診療科名

(1) 内科

内科	有 ・ 無		
内科と組み合わせた診療科名等			
①呼吸器内科	②消化器内科	③循環器内科	4腎臓内科
5神経内科	6血液内科	7内分泌内科	8代謝内科
9感染症内科	10アレルギー疾患内科またはアレルギー科	④リウマチ科	
診療実績			

(注) 1 「内科と組み合わせた診療科名等」欄については、標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

2 「診療実績」欄については、「内科と組み合わせた診療科名等」欄において、標榜していない診療科がある場合、その診療科で提供される医療を、他の診療科で提供している旨を記載すること。

(2) 外科

外科	(有) ・ 無
外科と組み合わせた診療科名 ①呼吸器外科 ②消化器外科 3乳腺外科 4心臓外科 5血管外科 ⑥心臓血管外科 7内分泌外科 ⑧小児外科	
診療実績	

- (注) 1 「外科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名の番号に○印を付けること。
 2 「診療実績」欄については、「外科」「呼吸器外科」「消化器外科」「乳腺外科」「心臓外科」「血管外科」「心臓血管外科」「内分泌外科」「小児外科」のうち、標榜していない科がある場合は、他の標榜科での当該医療の提供実績を記載すること（「心臓血管外科」を標榜している場合は、「心臓外科」「血管外科」の両方の診療を提供しているとして差し支えないこと）。

(3) その他の標榜していることが求められる診療科名

①精神科 ②小児科 ③整形外科 ④脳神経外科 ⑤皮膚科 ⑥泌尿器科 7産婦人科 ⑧産科 ⑨婦人科 ⑩眼科 ⑪耳鼻咽喉科 ⑫放射線科 13放射線診断科 14放射線治療科 ⑮麻酔科 ⑯救急科

- (注) 標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

(4) 歯科

歯科	(有) ・ 無
歯科と組み合わせた診療科名 ①小児歯科 ②矯正歯科 ③口腔外科	
歯科の診療体制	

- (注) 1 「歯科」欄及び「歯科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名の番号に○印を付けること。
 2 「歯科の診療体制」欄については、医療法施行規則第六条の四第五項の規定により、標榜している診療科名として「歯科」を含まない病院については記入すること。

(5) (1)～(4)以外でその他に標榜している診療科名

1心療内科 2リハビリテーション科 3病理診断科 4脳神経内科 5 6 7
8 9 10 11 12 13 14
15 16 17 18 19 20 21

- (注) 標榜している診療科名について記入すること。

5 病床数

精神	感染症	結核	療養	一般	合計
40床	1床	13床	床	612床	666床

6 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職 種	常 勤	非常勤	合 計	職 種	員 数	職 種	員 数
医 師	224人	258人	412.3人	看護補助者	45人	診療エックス線技師	0人
歯科医師	98人	27人	110.6人	理学療法士	21人	臨床検査技師	47人
薬 剤 師	50人	4人	51.7人	作業療法士	11人	衛生検査技師	0人
保健師	0人	0人	0人	視能訓練士	6人	その他	3人
助産師	22人	1人	22.8人	義肢装具士	0人	あん摩マッサージ指圧師	0人
看護師	652人	39人	681.3人	臨床工学士	20人	医療社会事業従事者	12人
准看護師	0人	0人	0人	栄 養 士	1人	その他の技術員	15人
歯科衛生士	14人	2人	16人	歯科技工士	5人	事務職員	174人
管理栄養士	6人	8人	14人	診療放射線技師	37人	その他の職員	101人

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。
 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

7 専門の医師数

専門医名	人 数	専門医名	人 数
総合内科専門医	38人	眼科専門医	12人
外科専門医	45人	耳鼻咽喉科専門医	9人
精神科専門医	11人	放射線科専門医	17人
小児科専門医	15人	脳神経外科専門医	14人
皮膚科専門医	10人	整形外科専門医	11人
泌尿器科専門医	12人	麻酔科専門医	19人
産婦人科専門医	14人	救急科専門医	5人
		合 計	232人

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。
 2 人数には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下1位を切り捨て、整数で算出して記入すること。

8 管理者の医療に係る安全管理の業務の経験

管理者名 (夏越 祥次) 任命年月日 平成29年4月1日

- ・ 病院長補佐 (安全管理担当) (H26. 4. 1-H29. 3. 31)
- ・ 医療環境安全部 部長 (H26. 4. 1-H29. 3. 31)
- ・ 医療安全管理委員会 委員長 (H26. 4. 1-H29. 3. 31)
- ・ リスクマネージャー連絡会議 議長 (H26. 4. 1-H29. 3. 31)
- ・ 医療環境安全部スタッフ会議 議長 (H26. 4. 1-H29. 3. 31)
- ・ 医療機器安全管理責任者 (H27. 4. 1-H29. 3. 31)

9 前年度の平均の入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の前年度の平均の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	538.3人	26.7人	565人
1日当たり平均外来患者数	880.2人	407.2人	1287.4人
1日当たり平均調剤数			1,235剤
必要医師数			112人
必要歯科医師数			8人
必要薬剤師数			19人
必要(准)看護師数			326人

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療料を受診した患者数を記入すること。
- 2 入院患者数は、前年度の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
- 3 外来患者数は、前年度の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 4 調剤数は、前年度の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 5 必要医師数、必要歯科医師数、必要薬剤師数及び必要(准)看護師数については、医療法施行規則第二十二條の二の算定式に基づき算出すること。

10 施設の構造設備

施設名	床面積	主要構造	設備概要			
集中治療室	320m ²	鉄筋コンクリート	病床数	14床	心電計	(有)・無
			人工呼吸装置	(有)・無	心細動除去装置	(有)・無
			その他の救急蘇生装置	(有)・無	ペースメーカー	(有)・無
無菌病室等	[固定式の場合] 床面積 379m ² [移動式の場合] 台数 2台		病床数	26床		
医薬品情報管理室	[専用室の場合] 床積 90m ² [共用室の場合] 共用する室名 病棟薬剤業務管理室					
化学検査室	304m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備) ティイスクリート方式臨床化学自動分析装置、免疫比濁分析装置、免疫蛍光分析装置、免疫発光測定装置、蛋白分画電気泳動分析装置、グルコース分析装置、グリコヘモグロビン分析装置、血液計数装置、血液塗抹標本作製装置、フローサイトメータ			
細菌検査室	45m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備) 血液培養自動分析装置、遺伝子解析装置、嫌気培養装置、炭酸ガス培養装置、抗酸菌培養検査装置、免疫蛍光測定装置、微生物分類同定分析装置、微生物由来成分分析装置、微生物感受性分析装置			
病理検査室	118m ²	軽量鉄骨造	(主な設備) 密閉式自動固定包埋装置、パラフィン包埋ブロック作製装置、滑走式ミクローム、自動染色装置、自動封入装置、自動免疫染色・ISH装置、凍結切片作製装置、集細胞遠心装置、顕微鏡、病理・細胞診検査業務支援システム			
病理解剖室	55m ²	軽量鉄骨造	(主な設備) パイロハート対応排気システム、排水蒸気滅菌処理システム			
研究室	8,026m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備) ガスフローコントローラ、電子顕微鏡			
講義室	665m ²	鉄筋コンクリート	室数	3室	収容定員	499人
図書室	1,980m ²	鉄筋コンクリート	室数	8室	蔵書数	183,000冊程度

- (注) 1 主要構造には、鉄筋コンクリート、簡易耐火、木造等の別を記入すること。
- 2 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器を記入すること。

11 紹介率及び逆紹介率の前年度の平均値

紹介率	85.7%	逆紹介率	69.6%
算出根拠	A: 紹介患者の数		14,056人
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数		12,500人
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数		1,334人
	D: 初診の患者の数		17,960人

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、Cの和をDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
 2 「逆紹介率」欄は、BをDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
 3 A、B、C、Dは、それぞれの前年度の延数を記入すること。

12 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由 (注)

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
綾部 貴典	宮崎大学 医学部附属病院	○	医療に係る安全管理に関する識見を有する者	無	1
玉利 尚大	玉利法律事務所		法律に関する識見を有する者	無	1
三好 綾	NPO 法人 がんサポート かごしま		医療を受ける者	無	2

- (注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1~3のいずれかを記載すること。
 1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
 2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者 (1. に掲げる者を除く。)
 3. その他

13 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由の公表の状況

委員名簿の公表の有無	(有)・無
委員の選定理由の公表の有無	(有)・無
公表の方法 大学ホームページにおいて公表	

平成 30 年度鹿児島大学病院の業務に関する報告書等の修正概要

	修正箇所	修正内容	備考
様式 第 10	4-2 標榜している診療科名 (1) 内科 内科と組み合わせた診療科 名等	(誤) 5 神経内科 → (正) 5 神経内科	(5) (1) ~ (4) 以外 でその他に標榜 している診療科 名に、脳神経内 科として記載
	6 医師、歯科医師、薬剤師、 看護師及び准看護師、管理栄 養士その他の従業者の員数	看護師 (誤) 常勤 654 人 → (正) 常勤 652 人 (誤) 合計 683.3 人 → (正) 合計 681.3 人	
	11 紹介率及び逆紹介率の前 年度の平均値 D: 初診の患者の数	(誤) 19,299 人 → (正) 17,960 人	
様式 第 3-1	高度の医療技術の開発及び評 価を行う能力を有することを 証する書類 1 研究費補助等の実績	次の 2 件を削除 ・ 5 ページ目上から 4 行目 丸山慎介 (鹿児島県医師 会) ・ 6 ページ目上から 6 行目 金蔵拓郎 (NPO 法人桜島ミ ュージウム) 上記削除により、 (誤) 合計 245 件 → (正) 合計 243 件	本評価の対象外 の案件のため削 除
様式 第 3-2	高度の医療技術の開発及び評 価を行う能力を有することを 証する書類 2 論文発表等の実績 (1) 高度の医療技術の開発及 び評価を行うことの評価対象 となる論文	次の重複 2 件を削除 ・ No93 ・ No94 上記削除により、 (誤) 合計 119 件 → (正) 合計 117 件	・ No93 は No91 と重複 ・ No94 は No90 と重複
様式 第 4	高度の医療に関する研修を行 わせる能力を有することを証 する書類 2 研修の実績 上記研修を受けた医師数	(誤) 合計 193 人 → (正) 合計 86 人	研修登録医は対 象外のため削除
様式 第 6-3	規則第 9 条の 2 3 第 1 項及び 第 2 項に掲げる病院の管理及 び運営を行うための合議体の 設置及び運営状況	合議体の設置の有無 (誤) 無 → (正) 有	調査表に併せて 内容追記
様式 第 6-3	規則第 15 条の 4 第 1 項第 1 号に掲げる管理者が有する権 限に関する状況	管理者が有する権限に係る内 部規程の公表の有無 (誤) 無 → (正) 有	調査表に併せて 内容追記

様式 第 6-3	規則第 15 条の 4 第 1 項第 3 号イに掲げる管理者の業務の執行が法令に適合することを確保するための体制の整備に係る措置	・ 専門部署の設置の有無 (誤) <input type="checkbox"/> 無 → (正) <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 内部規程の整備の有無 (誤) <input type="checkbox"/> 無 → (正) <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 内部規程の公表の有無 (誤) <input type="checkbox"/> 無 → (正) <input checked="" type="checkbox"/> 有	調査表に併せて 内容追記
様式 第 6-3	規則第 15 条の 4 第 1 項第 3 号ロに掲げる開設者による業務の監督に係る体制の整備に係る措置	内容追記	調査表に併せて 内容追記

以上

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

2 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
I31I-MIBGを用いた内照射療法	1人
パクリタキセル腹腔内投与及び静脈内投与並びにS-1内服併用療法	1人
十二種類の腫瘍抗原ペプチドによるテラーメイドのがんワクチン療法	0人
インターフェロンα皮下投与及びジドブジン経口投与の併用療法	1人
腹腔鏡下センチネルリンパ節生検	5人
放射線照射前に大量メトレキサート療法を行った後のテモゾロミド内服投与及び放射線治療の併用療法並びにテモゾロミド内服投与の維持療法	3人
術前のTS-1内服投与、パクリタキセル静脈内及び腹腔内投与並びに術後のパクリタキセル静脈内及び腹腔内投与の併用療法	0人
テモゾロミド用量強化療法	1人
mFOLFOX6及びパクリタキセル腹腔内投与の併用療法	0人
水素ガス吸入療法	1人
内視鏡下手術用ロボットを用いた腹腔鏡下広汎子宮全摘術	1人
S-1内服投与、シスプラチン静脈内投与及びパクリタキセル腹腔内投与の併用療法	2人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注)1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示第百二十九号)第三各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注)2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名	パクリタキセル腹腔内投与及び静脈内投与並びにS-1内服併用療法	取扱患者数	6人
当該医療技術の概要			
S-1+パクリタキセル経静脈・腹腔内併用療法は、標準治療であるS-1+CDDP併用療法を対照とした第III相試験において、腹膜播種陽性胃癌に対する有効性が示唆された新規治療法である。本研究は、患者申出療養制度下に、腹膜播種陽性または腹腔細胞診陽性の胃癌症例を対象として、本療法の安全性と有効性を評価することを目的とする。			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			

(注) 1 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(注) 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として十以上の診療科名を標榜する病院については、他の医療機関での実施状況を含め、当該医療技術が極めて先駆的であることについて記入すること(当該医療が先進医療の場合についても記入すること)。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

患者数	患者数	患者数	患者数
5	56	97	97
5	57	39	39
2	58	8	8
0	59	0	0
2	60	27	27
58	61	3	3
0	62	0	0
1	63	66	66
0	64	0	0
3	65	9	9
93	66	14	14
0	67	14	14
68	68	8	8
24	69	76	76
1	70	9	9
2	71	62	62
7	72	14	14
40	73	2	2
9	74	44	44
1	75	5	5
27	76	1	1
44	77	56	56
2	78	154	154
0	79	3	3
0	80	0	0
20	81	4	4
0	82	0	0
5	83	1	1
0	84	113	113
0	85	27	27
0	86	38	38
0	87	2	2
0	88	23	23
50	89	2	2
21	90	70	70
1	91	2	2
14	92	0	0
1	93	19	19
0	94	0	0
30	95	7	7
0	96	53	53
5	97	80	80
20	98	3	3
10	99	0	0
4	100	0	0
9	101	0	0
18	102	0	0
0	103	0	0
329	104	0	0
104	105	0	0
114	106	2	2
40	107	4	4
20	108	0	0
5	109	0	0
3	110	0	0

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数	疾患名	患者数	
111	先天性ミオパチー	0	161	家族性良性慢性天疱瘡	0
112	マリネスコ・シェーグレン症候群	0	162	類天疱瘡(後天性表皮水疱症を含む。)	9
113	筋ジストロフィー	1	163	特発性後天性全身性無汗症	0
114	非ジストロフィー性ミオトニー症候群	0	164	眼皮膚白皮症	0
115	遺伝性周期性四肢麻痺	0	165	肥厚性皮膚骨膜炎	0
116	アトピー性脊髄炎	0	166	弾性線維性仮性黄色腫	1
117	脊髄空洞症	0	167	マルファン症候群	2
118	脊髄髄膜瘤	0	168	エーラス・ダンロス症候群	2
119	アイザックス症候群	1	169	メンケス病	0
120	遺伝性ジストニア	1	170	オクシピタル・ホーン症候群	0
121	神経フェリチン症	0	171	ウィルソン病	3
122	脳表ヘモジドリン沈着症	0	172	低ホスファターゼ症	0
123	禿頭と変形性脊椎症を伴う常染色体劣性白質脳症	0	173	VATER症候群	0
124	皮質下梗塞と白質脳症を伴う常染色体優性脳動脈症	0	174	那須・ハコラ病	0
125	神経軸索スフェロイド形成を伴う遺伝性びまん性白質脳症	0	175	ウィーバー症候群	0
126	ベリー症候群	0	176	コフィン・ローリー症候群	1
127	前頭側頭葉変性症	1	177	有馬症候群	0
128	ピッカースタッフ脳幹脳炎	0	178	モワット・ウィルソン症候群	0
129	痙攣重積型(二相性)急性脳症	0	179	ウィリアムズ症候群	0
130	先天性無痛無汗症	0	180	ATR-X症候群	0
131	アレキサンダー病	0	181	クルーゾン症候群	0
132	先天性核上性球麻痺	0	182	アペール症候群	0
133	メビウス症候群	0	183	ファイファー症候群	0
134	中隔視神経形成異常症/トモルシア症候群	0	184	アントレー・ピクスラー症候群	0
135	アICALディ症候群	0	185	コフィン・シリズ症候群	0
136	片側巨脳症	0	186	ロスムンド・トムソン症候群	0
137	限局性皮質異形成	2	187	歌舞伎症候群	0
138	神経細胞移動異常症	0	188	多脾症候群	1
139	先天性大脳白質形成不全症	0	189	無脾症候群	2
140	ドラベ症候群	0	190	鰓耳腎症候群	0
141	海馬硬化を伴う内側側頭葉てんかん	0	191	ウェルナー症候群	0
142	ミオクロニー欠伸てんかん	0	192	コケイン症候群	0
143	ミオクロニー脱力発作を伴うてんかん	0	193	ブラダー・ウィリ症候群	0
144	レノックス・ガスター症候群	0	194	ソトス症候群	0
145	ウエスト症候群	0	195	ヌーナン症候群	0
146	大田原症候群	0	196	ヤング・シンブソン症候群	0
147	早期ミオクロニー脳症	0	197	1p36欠失症候群	0
148	遊走性焦点発作を伴う乳児てんかん	0	198	4p欠失症候群	0
149	片側痙攣・片麻痺・てんかん症候群	0	199	5p欠失症候群	0
150	環状20番染色体症候群	0	200	第14番染色体父親性ダイソミー症候群	0
151	ラスムッセン脳炎	0	201	アンジェルマン症候群	0
152	PCDH19関連症候群	0	202	スミス・マギニス症候群	0
153	難治頻回部分発作重積型急性脳炎	0	203	22q11.2欠失症候群	2
154	徐波睡眠期持続性棘徐波を示すてんかん性脳症	0	204	エマヌエル症候群	0
155	ランドウ・クレフナー症候群	0	205	脆弱X症候群関連疾患	0
156	レット症候群	0	206	脆弱X症候群	0
157	スタージ・ウェーバー症候群	0	207	総動脈幹遺残症	0
158	結節性硬化症	3	208	修正大血管転位症	0
159	色素性乾皮症	0	209	完全大血管転位症	0
160	先天性魚鱗癬	0	210	単心室症	1

4 指定難病についての診療

患者数	患者数	患者数	患者数
211	0	259	0
212	2	260	0
213	0	261	0
214	0	262	0
215	1	263	0
216	0	264	0
217	0	265	0
218	1	266	1
219	0	267	0
220	0	268	0
221	0	269	0
222	9	270	0
223	0	271	6
224	0	272	0
225	0	273	0
226	1	274	0
227	5	275	0
228	0	276	0
229	0	277	0
230	0	278	0
231	0	279	0
232	0	280	0
233	0	281	0
234	0	282	0
235	0	283	1
236	0	284	0
237	0	285	0
238	0	286	0
239	0	287	0
240	1	288	0
241	0	289	1
242	0	290	0
243	0	291	0
244	0	292	0
245	0	293	0
246	2	294	0
247	0	295	0
248	0	296	1
249	0	297	0
250	0	298	0
251	0	299	0
252	0	300	11
253	0	301	0
254	0	302	1
255	0	303	0
256	0	304	0
257	2	305	0
258	0	306	0

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾 患 名	患者数		疾 患 名	患者数
307	カナバン病	0	319	セピアプテリン還元酵素(SR)欠損症	0
308	進行性白質脳症	0	320	先天性グリコシルホスファチジルイノシトール(GPI)欠損症	0
309	進行性ミオクローヌスてんかん	0	321	非ケトーシス型高グリシン血症	0
310	先天異常症候群	0	322	β -ケトチオラーゼ欠損症	0
311	先天性三尖弁狭窄症	0	323	芳香族L-アミノ酸脱炭酸酵素欠損症	0
312	先天性僧帽弁狭窄症	0	324	メチルグルタコン酸尿症	0
313	先天性肺静脈狭窄症	0	325	遺伝性自己炎症疾患	0
314	左肺動脈右肺動脈起始症	0	326	大理石骨病	0
315	ネイルパテラ症候群(爪膝蓋骨症候群)/L MX1B関連腎症	0	327	特発性血栓症(遺伝性血栓性素因によるものに限る。)	0
316	カルニチン回路異常症	0	328	前眼部形成異常	0
317	三頭酵素欠損症	0	329	無虹彩症	0
318	シトリン欠損症	0	330	先天性気管狭窄症	0

(注)「患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

5 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(基本診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
地域歯科診療支援病院歯科初診料	病棟薬剤業務実施加算2
歯科外来診療環境体制加算2	データ提出加算
歯科診療特別対応連携加算	入退院支援加算
特定機能病院入院基本料	精神疾患診療体制加算
超急性期脳卒中加算	精神科急性期医師配置加算
診療録管理体制加算1	救命救急入院料1
医師事務作業補助体制加算1	特定集中治療室管理料1
急性期看護補助体制加算	新生児特定集中治療室管理料2
看護職員夜間配置加算	小児入院医療管理料2
看護補助加算	回復期リハビリテーション病棟入院料6
療養環境加算	短期滞在手術等基本料2
重症者等療養環境特別加算	入院時食事療養/生活療養(1)
無菌治療室管理加算1	
無菌治療室管理加算2	
緩和ケア診療加算	
精神科身体合併症管理加算	
精神科リエゾンチーム加算	
栄養サポートチーム加算	
医療安全対策加算1	
感染防止対策加算1	
患者サポート体制充実加算	
褥瘡ハイリスク患者ケア加算	
ハイリスク妊娠管理加算	
ハイリスク分娩管理加算	
総合評価加算	
病棟薬剤業務実施加算1	

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
歯科疾患管理料の注11に掲げる総合医療管理加算及び歯科治療時医療管理料	抗HLA抗体(スクリーニング検査)及び抗HLA抗体(抗体特異性同定検査)
糖尿病合併症管理料	HPV核酸検出及びHPV核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)
がん性疼痛緩和指導管理料	検体検査管理加算(I)
がん患者指導管理料イ	検体検査管理加算(IV)
がん患者指導管理料ロ	国際標準検査管理加算
がん患者指導管理料ハ	遺伝カウンセリング加算
外来緩和ケア管理料	心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算
移植後患者指導管理料(臓器移植後)	胎児心エコー法
糖尿病透析予防指導管理料	時間内歩行試験及びシャトルウォーキングテスト
外来放射線照射診療料	ヘッドアップティルト試験
ニコチン依存症管理料	人工臓臓検査、人工臓臓療法
がん治療連携計画策定料	長期継続頭蓋内脳波検査
肝炎インターフェロン治療計画料	神経学的検査
ハイリスク妊産婦連携指導料2	補聴器適合検査
薬剤管理指導料	ロービジョン検査判断料
検査・画像情報提供加算及び電子的診療情報評価料	コンタクトレンズ検査料1
医療機器安全管理料1	内服・点滴誘発試験
医療機器安全管理料2	画像診断管理加算2
医療機器安全管理料(歯科)	画像診断管理加算3
在宅腫瘍治療電場療法指導管理料	歯科画像診断管理加算1
持続血糖測定器加算及び皮下連続式グルコース測定	歯科画像診断管理加算2
遺伝学的検査	ポジトロン断層撮影
有床義歯咀嚼機能検査1のイ	ポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影
有床義歯咀嚼機能検査1のロ及び咀嚼能力検査	CT撮影及びMRI撮影
有床義歯咀嚼機能検査2のイ	冠動脈CT撮影加算
有床義歯咀嚼機能検査2のロ及び咬合圧検査	外傷全身CT加算

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
心臓MRI撮影加算	手術時歯根面レーザー応用加算
乳房MRI撮影加算	有床義歯修理及び有床義歯内面適合法の歯科技工加算1及び2
頭部MRI撮影加算	センチネルリンパ節加算
抗悪性腫瘍剤処方管理加算	組織拡張器による再建手術(乳房(再建手術)の場合に限る。)
外来化学療法加算1	骨移植術(軟骨移植術を含む。)(自家培養軟骨移植術に限る。)
無菌製剤処理料	脳刺激装置植込術(頭蓋内電極植込術を含む。)及び脳刺激装置交換術
心大血管疾患リハビリテーション料(Ⅰ)	脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術
脳血管疾患等リハビリテーション料(Ⅰ)	緑内障手術(緑内障治療用インプラント挿入術(プレートのあるもの))
運動器リハビリテーション料(Ⅰ)	網膜付着組織を含む硝子体切除術(眼内内視鏡を用いるもの)
呼吸器リハビリテーション料(Ⅰ)	網膜再建術
がん患者リハビリテーション料	人工内耳植込術、植込型骨導補聴器移植術及び植込型骨導補聴器交換術
集団コミュニケーション療法料	内視鏡下鼻・副鼻腔手術V型(拡大副鼻腔手術)
歯科口腔リハビリテーション料2	上顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科)、下顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科)
救急患者精神科継続支援料	内視鏡下甲状腺部分切除、腺腫摘出術、内視鏡下パセドウ甲状腺全摘(亜全摘)術(両葉)、内視鏡下副甲状腺(上皮小体)腺腫過形成手術
認知療法・認知行動療法1	内視鏡下甲状腺悪性腫瘍手術
抗精神病特定薬剤治療指導管理料(治療抵抗性統合失調症治療指導管理料に限る。)	乳腺腫瘍画像ガイド下吸引術(一連につき)(MRIによるもの)
医療保護入院等診療料	乳がんセンチネルリンパ節加算1及びセンチネルリンパ節生検(併用)
口腔粘膜処置	ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術(乳房切除後)
レーザー機器加算	食道縫合術(穿孔、損傷)(内視鏡によるもの)、内視鏡下胃、十二指腸穿孔瘻孔閉鎖術、胃瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、等
エタノールの局所注入(甲状腺)	経カテーテル大動脈弁置換術
エタノールの局所注入(副甲状腺)	ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術
導入期加算1	ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術(リードレスペースメーカー)
透析液水質確保加算及び慢性維持透析濾過加算	両心室ペースメーカー移植術及び両心室ペースメーカー交換術
手術用顕微鏡加算	植込型除細動器移植術及び植込型除細動器交換術及び経静脈電極抜去術
う蝕歯無痛的窩洞形成加算	両室ペースメーキング機能付き植込型除細動器移植術及び両室ペースメーキング機能付き植込型除細動器交換術
CAD/CAM冠	大動脈バルーンパンピング法(IABP法)

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
補助人工心臓	歯周組織再生誘導手術
腹腔鏡下小切開骨盤内リンパ節群郭清術、腹腔鏡下小切開後腹膜リンパ節群郭清術、腹腔鏡下小切開後腹膜腫瘍摘出術、等	広範囲顎骨支持型装置埋入手術
胆管悪性腫瘍手術(膵頭十二指腸切除及び肝切除(葉以上)を伴うものに限る。)	歯根端切除手術の注3
腹腔鏡下肝切除術	麻酔管理料(I)
生体部分肝移植術	麻酔管理料(II)
腹腔鏡下膵腫瘍摘出術	放射線治療専任加算
腹腔鏡下膵体尾部腫瘍切除術	外来放射線治療加算
腹腔鏡下膵頭十二指腸切除術	高エネルギー放射線治療
早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術	1回線量増加加算
腎腫瘍凝固・焼灼術(冷凍凝固によるもの)	強度変調放射線治療(IMRT)
同種死体腎移植術	画像誘導放射線治療(IGRT)
生体腎移植術	体外照射呼吸性移動対策加算
膀胱水圧拡張術	定位放射線治療
腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術	定位放射線治療呼吸性移動対策加算
人工尿道括約筋植込・置換術	画像誘導密封小線源治療加算
腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術	保険医療機関間の連携におけるデジタル病理画像による術中迅速病理組織標本作製
腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)	病理診断管理加算2
腹腔鏡下腔式子宮全摘術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	デジタル病理画像による病理診断
腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに対して内視鏡下手術用支援機器を用いる場合)	悪性腫瘍病理組織標本加算
腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに限る。)	口腔病理診断管理加算2
腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮頸がんに限る。)	クラウン・ブリッジ維持管理料
医科点数表第2章第10部手術の通則の16に掲げる手術	歯科矯正診断料
輸血管理料II	顎口腔機能診断料(顎変形症(顎離断等の手術を必要とするものに限る。))の手術前後における歯科矯正に係るもの)
自己クリオプレシビート作製術(用手法)	
人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算	
胃瘻造設時嚙下機能評価加算	

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

7 診療報酬の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

施設基準等の種類	施設基準等の種類
・内視鏡下甲状腺悪性腫瘍手術	・
・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・

(注)1 特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入しなくともよいこと。

(注)2 「施設基準等の種類」欄には、特定機能病院の名称の承認申請又は業務報告を行う3年前の4月以降に、診療報酬の算定方法(平成二〇年厚生労働省告示第五九号)に先進医療(当該病院において提供していたものに限る。)から採り入れられた医療技術について記入すること。

8 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	① 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	136回
剖検の状況	剖検症例数 30例 / 剖検率 14.9%

(注) 「症例検討会の開催頻度」及び「剖検の状況」欄には、前年度の実績を記入すること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

1

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
				補助元	委託元
免疫チェックポイント分子の機能解析と新規バイオマーカーの探索	夏越 祥次	病院長	2,000,000	補委○	小林市立病院
癌の進展に対する診断の精度向上に関する研究	夏越 祥次	病院長	2,000,000	補委○	国民健康保険 高原病院
上部消化器癌の微量癌細胞解析を用いた治療選択への応用	夏越 祥次	病院長	5,100,000	補委○	日本学術振興会
大規模検診から高浸透率家系を抽出する新しい高血圧遺伝子同定法の確立	大石 充	心臓血管内科	700,000	補委○	日本学術振興会
フレイル高齢者のレジストリ研究及び地域高齢者におけるフレイル予防プログラムの開発・検証	大石 充	心臓血管内科	1,000,000	補委○	国立研究開発法人国立長寿医療研究センター
虚血性心疾患患者における腎機能障害と脂肪酸の関連について	大石 充	心臓血管内科	2,000,000	補委○	えびの市
地域住民における脳血管疾患発症に対して効果的な血圧管理についての検討	大石 充	心臓血管内科	2,160,000	補委○	枕崎市立病院事業
虚血性心疾患患者における腎機能障害と脂肪酸の関連について	大石 充	心臓血管内科	1,300,000	補委○	出水市病院事業
垂水市在住高齢一般住民における前向きコホート研究	大石 充	心臓血管内科	265,000	補委○	垂水市
虚血性心疾患患者における腎機能障害と脂肪酸の関連について	大石 充	心臓血管内科	500,000	補委○	肝属郡医師会立病院
非弁膜症性心房細動患者における抗凝固薬の製造販売後比較評価研究	大石 充	心臓血管内科	450,000	補委○	国立大学法人琉球大学
CFAEアブレーションを軸とした慢性心房細動の包括的新規治療法の開発	桶谷 直也	心臓血管内科	700,000	補委○	日本学術振興会
大動脈瘤に対するマクロファージを標的とした新規診断法と治療法の探索的研究	宮田 昌明	心臓血管内科	1,400,000	補委○	日本学術振興会
フレイルと心不全の相互関連因子探索と心臓リハビリテーションの有効性に関する研究	窪菌 琢郎	心臓血管内科	900,000	補委○	日本学術振興会
成人先天性心疾患レジストリ構築および心機能・予後予測の簡易マーカーの探索的研究	高崎 州亜	心臓血管内科	1,300,000	補委○	日本学術振興会

小計15件

ミトコンドリアダイナミクスとオートファジーを標的としたサルコペニアの新規治療法	赤崎 雄一	心臓血管内科	1,300,000	補○ 委	日本学術振興会
血管老化・動脈硬化に対するオルタナティブオートファジーを軸とした治療法の開発	池田 義之	心臓血管内科	1,200,000	補○ 委	日本学術振興会
次世代シーケンサーによる家族性肺高血圧症の遺伝子解析:特発性肺高血圧症の機序解明	田中 佳代子	心臓血管内科	1,100,000	補○ 委	日本学術振興会
大動脈弁狭窄症における炎症、石灰化、凝固能に関するマイクロRNA,エクソソームの解析	井本 浩	心臓血管外科	1,000,000	補 委○	肝属郡医師会立病院
血小板内性VEGF-Aを分子標的とする新規大腸癌治療の臨床及び分子生物学的研究	井本 浩	心臓血管外科	600,000	補○ 委	日本学術振興会
生活習慣病が消化器疾患や腎疾患の病態進展に及ぼす影響に関する研究	井戸 章雄	消化器内科	1,000,000	補 委○	国民健康保険 高原病院
消化器疾患におけるアルデヒド呼吸気試験の有用性の検討	井戸 章雄	消化器内科	5,200,000	補 委○	出水市病院事業
難治性潰瘍性大腸炎を対象としたアドレノメデュリン製剤による医師主導治験 Phase II	井戸 章雄	消化器内科	2,474,000	補 委○	国立大学法人宮崎大学
高リスク肝芽腫に対するイリノテカン、ビンクリスチン、テムシロリムス併用療法の有効性に関する国際共同臨床試験	井戸 章雄	消化器内科	455,000	補 委○	広島大学
好中球由来ペプチドの膝炎に対する影響と臨床的意義の検討	橋元 慎一	消化器内科	500,000	補○ 委	日本学術振興会
高フルクトース食による腸内細菌叢構成異常が肝炎や発癌、癌進展に及ぼす影響の解析	田ノ上 史郎	消化器内科	1,700,000	補○ 委	日本学術振興会
膵臓癌細胞由来オルガノイドモデルを用いた放射線化学療法耐性の機序解明	川崎 洋太	消化器外科	700,000	補○ 委	日本学術振興会
双方向性画像支援機能を持つ胆道・膵再建シミュレーターおよび遠隔指導システムの開発	前村 公成	消化器外科	600,000	補○ 委	日本学術振興会
内視鏡下甲状腺悪性腫瘍手術における根治性・安全性の向上に関する研究	中条 哲浩	消化器外科	2,000,000	補○ 委	日本学術振興会
手術中における消化器外科医のストレス評価及び医療安全を目指した基礎的データの構築	迫田 雅彦	消化器外科	300,000	補○ 委	日本学術振興会
免疫チェックポイント分子の機能解析とその制御を標的とした新しい治療法の開発	有上 貴明	消化器外科	1,300,000	補○ 委	日本学術振興会
神経疾患における免疫病態の解明と治療法開発に関する研究	高嶋 博	神経内科	500,000	補 委○	国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター
自己免疫性脳炎・脳症に関する研究	高嶋 博	神経内科	1,300,000	補 委○	出水市病院事業
筋病理と次世代シーケンサーを用いたミトコンドリア病診断率向上に関する検討	高嶋 博	神経内科	1,000,000	補 委○	肝属郡医師会立病院
HAM患者を対象としたステロイド第Ⅱb相臨床試験	松浦 英治	神経内科	1,300,000	補 委○	聖マリアンナ

小計20件

免疫介在性イオンチャネル病の病態解析および新規抗原の解明	渡邊 修	神経内科	1,100,000	補○ 委	日本学術振興会
てんかん原性病変におけるメチオニン集積亢進機序の解明	花谷 亮典	脳神経外科	1,200,000	補○ 委	日本学術振興会
腰部脊柱管狭窄症における脊柱管内炎症ネットワークの解明	山畑 仁志	脳神経外科	1,100,000	補○ 委	日本学術振興会
疼痛・情動行動における脳脊髄FFAR1システムの重要性を検証する	大吉 達樹	脳神経外科	1,100,000	補○ 委	日本学術振興会
悪性グリオーマの腫瘍内免疫におけるWntの役割解明と治療への応用	平野 宏文	脳神経外科	700,000	補○ 委	日本学術振興会
脳卒中後疼痛・情動異常発症メカニズムの検討-ミクログリア活性化仮説-の評価-	有田 和徳	脳神経外科	1,200,000	補○ 委	日本学術振興会
重症喘息およびCOPD患者の地域特性に関連したコホート研究	井上 博雅	呼吸器内科	1,300,000	補 委○	出水市病院事業
新規の肺癌診断マーカーの開発	井上 博雅	呼吸器内科	750,000	補 委○	肝属郡医師会立病院
新規脂質代謝酵素に注目した気管支喘息の病態解析	井上 博雅	呼吸器内科	1,400,000	補○ 委	日本学術振興会
血液・気道上皮被覆液miRNA発現解析に基づく呼吸器疾患バイオマーカーの検討	寒川 卓哉	呼吸器内科	900,000	補○ 委	日本学術振興会
特発性肺線維症・肺癌に共通する機能性RNA分子ネットワークの探索	上川路 和人	呼吸器内科	2,300,000	補○ 委	日本学術振興会
抗原非特異的な喘息増悪の病態におけるTRPチャネルの役割に関する研究	町田 健太郎	呼吸器内科	900,000	補○ 委	日本学術振興会
肺線維症・肺癌に共通する機能性RNA分子ネットワークの探索と革新的治療法の開発	俣木 浩子	呼吸器内科	1,400,000	補○ 委	日本学術振興会
肺癌抗体治療のターゲット分子におけるスプライス異常と効果の分子生物学的相関研究	佐藤 雅美	呼吸器外科	1,400,000	補○ 委	日本学術振興会
TLRsとその下流因子の肺癌進行における役割の解明	青木 雅也	呼吸器外科	1,000,000	補○ 委	日本学術振興会
アロマ芳香浴の有効性・作用機序・安全性の検討-ストレス関連疾患の治療・予防からのアプローチ-	浅川 明弘	心身医療科	2,990,000	補 委○	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
新たな骨髄-脳相関・骨髄由来細胞を標的とした癌性悪液質・サルコペニアの治療法開発	浅川 明弘	心身医療科	900,000	補○ 委	日本学術振興会
マイクロRNAによる新規泌尿器がん治療の開発のためのin vivo実験	中川 昌之	泌尿器科	2,000,000	補 委○	小林市立病院
マイクロRNAによる新規泌尿器がん治療の開発のためのin vivo実験	中川 昌之	泌尿器科	2,000,000	補 委○	肝属郡医師会立病院
治療抵抗性腎癌における機能性RNA分子ネットワークの探索と革新的治療法の開発	中川 昌之	泌尿器科	4,900,000	補○ 委	日本学術振興会

小計20件

革新的腎癌治療法の開発を目指したゲノム編集による癌促進型マイクロRNAの機能解析	井手迫 俊彦	泌尿器科	1,100,000	補○ 委	日本学術振興会
ゲノム編集技術による癌促進型マイクロRNAの機能解析と革新的膀胱癌治療法の開発	榎田 英樹	泌尿器科	5,300,000	補○ 委	日本学術振興会
尿路上皮癌・増殖シグナルを遮断するマイクロRNAの探索に基づく革新的治療法の開発	吉野 裕史	泌尿器科	900,000	補○ 委	日本学術振興会
膀胱癌・新規癌抑制型マイクロRNAが制御する機能性RNA分子ネットワークの探索	松下 良介	泌尿器科	1,500,000	補○ 委	日本学術振興会
ゲノム編集技術を用いた腎癌における分子標的治療薬への耐性化機構の解明	米森 雅也	泌尿器科	1,600,000	補○ 委	日本学術振興会
高分子ナノミセルに搭載した転移抑制マイクロRNAを用いた核酸医薬への挑戦	鎌野 秀一	泌尿器科	1,000,000	補○ 委	日本学術振興会
ATLにおける慢性活性化T細胞受容体経路を標的とした創薬基盤の構築	吉満 誠	血液・膠原病内科	1,400,000	補○ 委	日本学術振興会
成人T細胞白血病・リンパ腫に対する抗アポトーシス蛋白を標的とする新規治療開発	石塚 賢治	血液・膠原病内科	1,100,000	補○ 委	日本学術振興会
枕崎久久における糖尿病重症化予防に関する研究	西尾 善彦	糖尿病・内分泌内科	1,080,000	補 委○	枕崎市立病院事業
糖尿病性神経障害の臨床病期と血圧日内変動の関連	西尾 善彦	糖尿病・内分泌内科	1,300,000	補 委○	出水市病院事業
糖尿病性神経障害と血圧日内変動との関係	西尾 善彦	糖尿病・内分泌内科	250,000	補 委○	肝属郡医師会立病院
J-DREAMSコホートを利用した糖尿病患者の合併症進展に関する縦断研究	西尾 善彦	糖尿病・内分泌内科	300,000	補 委○	えびの市
新規蛍光物質gGlu-HMRGの臨床応用と遺伝学的アプローチからの精度向上	新田 吉陽	乳腺・甲状腺外科	700,000	補○ 委	日本学術振興会
幹細胞マーカーを用いた癌細胞競合下における真の浸潤・転移癌細胞の同定と機序解明	喜多 芳昭	乳腺・甲状腺外科	700,000	補○ 委	日本学術振興会
乳癌治療時の遊離真皮脂肪片(FDFG)移植に関する基礎的・臨床的研究	喜島 祐子	乳腺・甲状腺外科	1,100,000	補○ 委	日本学術振興会
有棘赤血球舞踏病とマイトファジー 分子レベルの病態機序解明と神経変性予防法の開発	佐野 輝	神経科精神科	5,800,000	補○ 委	日本学術振興会
特異な中間表現型を有した統合失調症多発家系から同定した責任遺伝子の解析	中村 雅之	神経科精神科	500,000	補○ 委	日本学術振興会
薬剤性パーキンソニズムにおけるシナプトタグミンファミリーの関与についての研究	林 岳宏	神経科精神科	500,000	補○ 委	日本学術振興会
アジア国際共同臨床試験を通じたDS-ALLにおける標準治療の開発	岡本 康裕	小児科	17,970,884	補 委○	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
DCKプロモーターの脱メチル化によるネララピン耐性機構の解明と耐性予防法の確立	岡本 康裕	小児科	1,400,000	補○ 委	日本学術振興会

小計20件

枕崎地区における小児予防摂取率向上と小児医療体制充実に関する研究	河野 嘉文	小児科	1,080,000	補 委○	枕崎市立病院事業
出水地区における小児疾患の予防策と治療成績の向上に関する研究	河野 嘉文	小児科	2,600,000	補 委○	出水市病院事業
薬物動態解析と代謝酵素活性分析による安全かつ効果的な小児造血細胞移植術の確立	河野 嘉文	小児科	1,400,000	補 委○	日本学術振興会
長期経管栄養管理中のヨードとセレンの欠乏と甲状腺機能低下との関連性の検討	丸山 慎介	小児科	100,000	補 委○	鹿児島県医師会
血小板VEGF-Aと足細胞との関連を通じて、小児特発性ネフローゼ症候群における血小板異常の意義を解明する	宮園 明典	小児科	450,000	補 委○	公益財団法人 森永奉仕会
アルデヒド代謝からみたシクロオクサファミド心筋障害予防法の探索	西川 拓朗	小児科	1,600,000	補 委○	日本学術振興会
カテーテル関連敗血症に対する腸管粘膜の免疫誘導による新規治療法の開発	加治 建	小児外科	1,000,000	補 委○	日本学術振興会
重症心身障害児に対する3Dスキャナーを用いた腹腔鏡ポータルレイアウトシステムの開発	山田 耕嗣	小児外科	1,100,000	補 委○	日本学術振興会
ハイドロゲン・ナノバブルを用いた壊死性腸炎に対する画期的治療法の開発	川野 孝文	小児外科	1,400,000	補 委○	日本学術振興会
壊死性腸炎に対するグルカゴンライクペプチド-2を用いた革新的新規治療法の開発	中目 和彦	小児外科	1,400,000	補 委○	日本学術振興会
壊死性腸炎に対するグレリンを用いた発症メカニズム解明と革新的新規予防治療法の開発	町頭 成郎	小児外科	1,500,000	補 委○	日本学術振興会
救命困難な超重症NECに対する大建中湯を用いた実験的予防法開発	榎屋 隆太	小児外科	1,600,000	補 委○	日本学術振興会
婦人科悪性腫瘍に対する縮小手術の研究	小林 裕明	産科、婦人科	1,300,000	補 委○	出水市病院事業
高度腫瘍移行性と低毒性を可能としたナノメディシン抗がん剤の婦人科腫瘍における検討	小林 裕明	産科、婦人科	1,400,000	補 委○	日本学術振興会
不妊専門相談支援推進研究	中條 有紀子	産科、婦人科	619,542	補 委○	鹿児島県
大型動物脊髄損傷モデルを用いたiPS細胞由来神経幹細胞移植による再生治療研究	あべ松 昌彦	整形外科・リウマチ外科	1,400,000	補 委○	日本学術振興会
未分化/未分類肉腫の治療ターゲット解析	小宮 節郎	整形外科・リウマチ外科	2,000,000	補 委○	小林市立病院
骨形成タンパク(BMP)の標的遺伝子Atoh8の骨代謝における役割	小宮 節郎	整形外科・リウマチ外科	500,000	補 委○	肝属郡医師会立病院
骨軟部腫瘍の細胞外マトリックス制御による抗腫瘍薬デリバリー改善の新技术開発	永野 聡	整形外科・リウマチ外科	900,000	補 委○	日本学術振興会
脊柱靭帯骨化症候群に重要な内軟骨性骨化変化の責任機能遺伝子同定と機能解析	河村 一郎	整形外科・リウマチ外科	1,000,000	補 委○	日本学術振興会

小計20件

軟骨肉腫鑑別分子マーカーとしての尿素輸送体UT-Bの発現・機能解析	佐々木 裕美	整形外科・リウマチ外科	1,200,000	補○ 委	日本学術振興会
Undifferentiated pleomorphic sarcoma治療開発	泉 俊彦	整形外科・リウマチ外科	1,700,000	補○ 委	日本学術振興会
後縦靭帯骨化症関連遺伝子CDC5Lの機能～新たな骨芽細胞コミットメント機構解明	富永 博之	整形外科・リウマチ外科	1,200,000	補○ 委	日本学術振興会
内軟骨性骨化における後縦靭帯骨化症関連遺伝子STK38Lの役割と標的分子の解析	梶 博則	整形外科・リウマチ外科	1,400,000	補○ 委	日本学術振興会
遺伝子組換えシルクによる創傷治療薬、創傷被覆材、再生医療用素材の開発に関する研究	金蔵 拓郎	皮膚科	4,000,000	補 委○	国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 生物機能利用研究部門
桜島産椿油の皮膚保湿性に関する基礎的検討	金蔵 拓郎	皮膚科	297,000	補 委○	NPO法人 桜島 ミュージアム
HDAC阻害剤の併用療法のターゲットとしてのMAPKシグナル経路の可能性	指宿 敦子	皮膚科	1,900,000	補○ 委	日本学術振興会
好中球機能からみた炎症性皮膚疾患の病態解明とその治療法の確立	東 裕子	皮膚科	1,000,000	補○ 委	日本学術振興会
核内受容体をターゲットとしたHDAC阻害剤の併用療法の開発	藤井 一恭	皮膚科	700,000	補○ 委	日本学術振興会
円形脱毛症の病態形成におけるTCRV $\delta 1 + \gamma \delta$ T細胞の新規の役割	内田 洋平	皮膚科	1,200,000	補○ 委	日本学術振興会
北薩地区における成人眼疾患の概要	坂本 泰二	眼科	1,300,000	補 委○	出水市病院事業
鹿児島県内眼科疾患の研究	坂本 泰二	眼科	500,000	補 委○	肝属郡医師会立病院
総合硝子体学の研究:基盤病態解明と治療の研究	坂本 泰二	眼科	3,700,000	補○ 委	日本学術振興会
ヒト極性網膜色素上皮細胞を使った網脈絡膜疾患の病態制御に関する研究	園田 祥三	眼科	700,000	補○ 委	日本学術振興会
眼軸長伸長に伴う眼底微細構造変化の解明	山下 高明	眼科	1,200,000	補○ 委	日本学術振興会
ヒト極性網膜色素上皮細胞を用いた上皮間葉転換早期の病態解明	寺崎 寛人	眼科	1,000,000	補○ 委	日本学術振興会
網膜静脈閉塞症の分子病態と脈絡膜の関連についての検討	大塚 寛樹	眼科	900,000	補○ 委	日本学術振興会
HTLV-1関連眼疾患の診断法確立のための臨床的研究	中尾 久美子	眼科	800,000	補○ 委	日本学術振興会
鹿児島県内の小中学生における耳鼻咽喉科疾患の疫学的調査研究	黒野 祐一	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	640,700	補 委○	西之表市
垂水市内の小中学生における耳鼻咽喉科疾患の疫学調査研究	黒野 祐一	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	234,090	補 委○	垂水市

小計20件

屋久島町における耳鼻咽喉科疾患の疫学的調査	黒野 祐一	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	732,000	補委○	屋久島町
垂水市内の小中学生における耳鼻咽喉科疾患の疫学的調査研究	黒野 祐一	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	234,090	補委○	垂水市
ホスホリルコリンの二相作用を応用した新たな粘膜ワクチンの開発	黒野 祐一	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	1,200,000	補委○	日本学術振興会
粘膜免疫応答誘導型経皮ワクチンの開発	永野 広海	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	1,300,000	補委○	日本学術振興会
ホスホリルコリン経鼻免疫追加によるあらたな肺炎球菌ワクチン接種プログラムの開発	間世田 佳子	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	1,400,000	補委○	日本学術振興会
鼻咽腔関連リンパ組織(NALT)の免疫記憶機能を応用した新規粘膜ワクチンの開発	大堀 純一郎	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	1,600,000	補委○	日本学術振興会
IgA腎症における口蓋扁桃の免疫応答と新たなバイオマーカーの開発	地村 友宏	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	1,300,000	補委○	日本学術振興会
ホスホリルコリン舌下投与によるアレルギー性鼻炎の制御機構に関する研究	牧瀬 高穂	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	1,800,000	補委○	日本学術振興会
高分解能エネルギー代謝MRIイメージング法の開発と脳腫瘍への応用	吉浦 敬	放射線科	1,300,000	補委○	日本学術振興会
子宮腫瘍におけるAACID imagingの有用性の検討	熊谷 雄一	放射線科	2,000,000	補委○	日本学術振興会
パーキンソン病における神経変性を可視化する細胞内タンパクイメージング法の開発	上村 清央	放射線科	900,000	補委○	日本学術振興会
酸素代謝強調MR画像による膵癌の放射線・化学療法効果と予後予測法の確立	福倉 良彦	放射線科	900,000	補委○	日本学術振興会
放射線治療の予後判定の可能性(放射線抵抗性の獲得と癌の浸潤・転移との関連性)	犬童 寛子	顎顔面放射線科	1,100,000	補委○	日本学術振興会
慢性疼痛における痛覚伝導路でのヘム・オキシゲナーゼの鎮痛・発痛効果の検討	五代 幸平	麻酔科	800,000	補委○	日本学術振興会
敗血症性腎障害におけるアドレナリン受容体の関与	上村 裕一	麻酔科	1,600,000	補委○	日本学術振興会
プロポフォール注入症候群発症の機序解明とカルニチンによる抑制効果	森山 孝宏	麻酔科	500,000	補委○	日本学術振興会
三叉神経領域の痛覚日内変動機構の解明-効果的な時間薬物療法の確立に向けて-	杉村 光隆	歯科麻酔科	1,100,000	補委○	日本学術振興会
左室拡張能、圧受容体反射感受性とバイオマーカーによる術後心血管リスク因子の同定	糺谷 淳	歯科麻酔科	500,000	補委○	日本学術振興会
視覚反復刺激療法と大脳刺激による視野障害の治療法の開発と臨床応用	衛藤 誠二	リハビリテーション科	1,100,000	補委○	日本学術振興会
脳損傷後の運動障害に対して多様な物理的刺激を応用した新しいリハビリ技術の開発	下堂 蕙 恵	リハビリテーション科	1,600,000	補委○	日本学術振興会

小計20件

県民の歯科口腔保険実態調査に係る調査票集計・分析評価業務	於保 孝彦	口腔保健科	550,000	補 委○	鹿児島県
口腔アンギノーサスレンサ球菌による深部感染症の発症機構の解析と宿主リスク評価法	山口 泰平	口腔保健科	800,000	補○ 委	日本学術振興会
新規根面う蝕細菌種を標的とした高齢者QOL向上法の開発	小幡 純子	口腔保健科	1,200,000	補○ 委	日本学術振興会
口腔バイオフィルムによる動脈硬化誘発機序の解明ー菌種の多様性が導く病原性ー	長田 恵美	口腔保健科	1,100,000	補○ 委	日本学術振興会
脳腸モデルと脳透明化法によるてんかん治療を応用した唾液分泌と嚥下の促進機序の解明	菅 真有	矯正歯科	1,100,000	補○ 委	日本学術振興会
幼少期ストレス誘発性筋異常疼痛の治療に対する薬理遺伝学を用いた検討	古川 みなみ	矯正歯科	1,100,000	補○ 委	日本学術振興会
健康長寿社会を担う歯科医学教育改革	宮脇 正一	矯正歯科	1,000,000	補 委○	国立大学法人岡山大学
遺伝子多型に応じた機能性ディスプレイの治療がブラキシズムに及ぼす効果の解明	宮脇 正一	矯正歯科	1,500,000	補○ 委	日本学術振興会
ヒトPS細胞への転写因子Msx2導入による骨芽細胞への分化・骨形成に関する研究	山本 芳丈	矯正歯科	600,000	補○ 委	日本学術振興会
カリウムイオン競合型アシッドブロッカーを応用したブラキシズムの根本療法の開発	永山 邦宏	矯正歯科	1,800,000	補○ 委	日本学術振興会
不正咬合に起因する“顎口腔サルコペニア”の実態と内分泌・免疫系因子との関連	前田 綾	矯正歯科	1,100,000	補○ 委	日本学術振興会
消化管運動促進薬とH2ブロッカーによる咀嚼筋障害に対する治療効果の検討	大賀 泰彦	矯正歯科	1,700,000	補○ 委	日本学術振興会
胃食道逆流と関連する睡眠時ブラキシズムのPPI治療関連因子の探索	大牟禮 治人	矯正歯科	600,000	補○ 委	日本学術振興会
視床下部-下垂体-副腎軸・脳腸相関によるストレス調整と顎口腔機能の関連性の解明	八木 孝和	矯正歯科	700,000	補○ 委	日本学術振興会
自動埋入型骨固定装置による顎骨の成長促進が小児の睡眠呼吸障害に及ぼす効果の検討	友成 博	矯正歯科	900,000	補○ 委	日本学術振興会
顎骨の劣成長に対する外科的矯正治療が睡眠時無呼吸と胃食道逆流に及ぼす効果の解明	國則 貴玄	矯正歯科	500,000	補○ 委	日本学術振興会
マウス歯根形成端周囲組織への直接的遺伝子導入法(GTPT)の開発と応用	窪田 直子	小児歯科	1,000,000	補○ 委	日本学術振興会
流体解析を応用したダウン症児OSASの部位特定と歯科的治療モデルの構築	佐藤 秀夫	小児歯科	1,300,000	補○ 委	日本学術振興会
小児OSASの上顎側方急速拡大は漏斗胸を予防するー流体構造連成解析を用いてー	山崎 要一	小児歯科	500,000	補○ 委	日本学術振興会
いびきの音響解析を用いたOSAS診断のための新たな検査法の開発	菅 北斗	小児歯科	900,000	補○ 委	日本学術振興会

小計20件

口呼吸小児における口唇閉鎖訓練の有効性の検討とスクリーニング法の確立	村上 大輔	小児歯科	800,000	補○ 委	日本学術振興会
咀嚼・嚥下機能の新評価法の確立による口唇閉鎖不全と異常口腔機能の関連性の解明	武元 嘉彦	小児歯科	2,100,000	補○ 委	日本学術振興会
MMP活性抑制剤を配合した新規接着剤の研究	星加 知宏	保存科	1,100,000	補○ 委	日本学術振興会
接着性覆髄剤を応用した新たなコンポジットレジン修復法の開発	西谷 佳浩	保存科	1,100,000	補○ 委	日本学術振興会
2型糖尿病ラットへの抗糖尿病薬投与が骨インプラント結合に与える影響について	橋口 千琴	歯周病科	500,000	補○ 委	日本学術振興会
脱分化脂肪細胞(DFAT)由来サイトカインカクテルを用いた新規骨再生療法の開発	篠原 敬哉	歯周病科	1,100,000	補○ 委	日本学術振興会
歯周炎における骨細胞の新たな機能の解明	瀬名 浩太郎	歯周病科	1,100,000	補○ 委	日本学術振興会
妊娠性糖尿病におけるインスリン抵抗性亢進への歯周病の関与に関する包括的研究	長谷川 梢	歯周病科	1,300,000	補○ 委	日本学術振興会
In situ 組織工学アプローチを応用した生体内完結型歯周再生療法の新たな試み	白方 良典	歯周病科	1,000,000	補○ 委	日本学術振興会
セメント芽細胞分化誘導を基軸とした歯周組織再生型インプラントの基盤開発	迫田 賢二	歯周病科	1,200,000	補○ 委	日本学術振興会
強力な骨形成タンパクBMP-9と脂肪組織由来細胞を活用した新規再生療法の開発	野口 和行	歯周病科	3,100,000	補○ 委	日本学術振興会
咀嚼感覚と耐久性に優れた新規ウレタン系軟性裏装材の開発研究	門川 明彦	冠・ブリッジ科	500,000	補○ 委	日本学術振興会
審美性と接着耐久性を兼ね備えたダイレクトボンディングブリッジの開発	峰元 里子	冠・ブリッジ科	700,000	補○ 委	日本学術振興会
オートファジーを介した黄色ブドウ球菌排除の分子基盤解明	原田 佳枝	義歯補綴科	1,100,000	補○ 委	日本学術振興会
骨置換型材料を用いたオーダーメイド型骨造成法の開発	益崎 与泰	義歯補綴科	900,000	補○ 委	日本学術振興会
ケアの負担軽減に繋げるための義歯に付与するブランク付着抑制能の検討	西 恭宏	義歯補綴科	1,200,000	補○ 委	日本学術振興会
自己体性幹細胞の多軸的制御と可視的評価による委縮顎骨の増生治療開発	西村 正宏	義歯補綴科	4,400,000	補○ 委	日本学術振興会
コンビネーション保湿による新規保湿方法の開発とその有効性に関する多軸的評価	村上 格	義歯補綴科	1,000,000	補○ 委	日本学術振興会
インプラント体周囲組織再生部のin situ bacteriologyの融合	藤島 慶	義歯補綴科	1,100,000	補○ 委	日本学術振興会
高齢義歯装着患者の摂食機能と栄養状態の関連ならびに栄養食事指導効果の検証	峰元 洋光	義歯補綴科	1,600,000	補○ 委	日本学術振興会

小計20件

神経誘導による顎骨再生治療法の開発	末廣 史雄	義歯補綴科	1,300,000	補○ 委	日本学術振興会
長島町における住民の口腔疾患に関する調査研究	杉浦 剛	口腔外科	1,000,000	補 委○	長島町
薩摩川内市鹿島町における住民の口腔疾患の保健管理に関する研究	杉浦 剛	口腔外科	1,000,000	補 委○	薩摩川内市
転移先臓器と癌幹細胞を標的とした機能性RNAによる口腔癌新規治療法の開発	杉浦 剛	口腔外科	2,800,000	補○ 委	日本学術振興会
口腔癌の循環癌細胞分離によるリアルタイム液状細胞診を用いた個別化療法の開発	別府 真広	口腔外科	1,100,000	補○ 委	日本学術振興会
癌遺伝子 ΔNp63とmicroRNAを介した癌の浸潤・転移機構の解析と治療応用	後藤 雄一	口腔外科	1,200,000	補○ 委	日本学術振興会
口腔癌における循環癌細胞の分離による個別化治療法の開発	山下 麻由美	口腔外科	1,400,000	補○ 委	日本学術振興会
カンジダ卵黄抗体と蛍光色素を用いた新しいカンジダ検出法の開発、簡便化と迅速化	上川 善昭	口腔外科	900,000	補○ 委	日本学術振興会
唾液/血液中の腫瘍核酸(cfDNAとmiRNA)による数理腫瘍学的な口腔癌診断法	中村 康大	口腔外科	1,200,000	補○ 委	日本学術振興会
口腔癌の浸潤・転移における低酸素応答がん幹細胞マーカーの意義	比地岡 浩志	口腔外科	700,000	補○ 委	日本学術振興会
うがい液からのDNAメチル化異常検出による口腔癌発癌予測システムの開発	浜田 倫史	口腔外科	1,300,000	補○ 委	日本学術振興会
瘢痕拘縮抑制効果を示す自己治癒誘導型接着性多孔膜の開発	岐部 俊郎	口腔顎顔面外科	900,000	補○ 委	日本学術振興会
治療選択を目的とした唾液腺癌のsubtype分類の確立	吉村 卓也	口腔顎顔面外科	1,300,000	補○ 委	日本学術振興会
新規樹立したSnail高発現OSCC細胞株を用いた間葉上皮転換機構の解明	久米 健一	口腔顎顔面外科	900,000	補○ 委	日本学術振興会
口蓋裂術後の言語障害の視覚的フィードバックを目指す新たな音声可視化システムの構築	手塚 征宏	口腔顎顔面外科	700,000	補○ 委	日本学術振興会
歯性感染症における異種細胞相互作用ならびに細胞極性調節因子と感染防御能の関連解析	石畑 清秀	口腔顎顔面外科	700,000	補○ 委	日本学術振興会
新規ニューラルネットワークを用いた口蓋裂異常構音の可視化診断・訓練システムの開発	中村 典史	口腔顎顔面外科	5,400,000	補○ 委	日本学術振興会
次世代型生体吸収性ハイドロキシアパタイト表面被覆Mg合金の骨内変化に関する研究	野添 悦郎	口腔顎顔面外科	1,100,000	補○ 委	日本学術振興会
歯髄幹細胞による認知症の学習・記憶障害改善効果についての検討	鈴木 甫	口腔顎顔面外科	600,000	補○ 委	日本学術振興会
エナメル上皮腫の多様な浸潤発育機構の解明	淵上 貴央	口腔顎顔面外科	1,600,000	補○ 委	日本学術振興会

小計20件

HIV診療医師情報網支援事業	橋口 照人	検査部	199,000	補 委○	独立行政法人国立 病院機構九州医療 センターAIDS/HIV 総合治療センター
無核の血小板・赤血球のプログラム細胞死の動態解析と病態検査学への導入展開	橋口 照人	検査部	4,400,000	補 委○	日本学術振興会
漢方薬は慢性腎臓病の治療薬となり得るか? :漢方薬の炎症制御機構解明へのチャレンジ	大山 陽子	検査部	1,100,000	補 委○	日本学術振興会
膵癌肝転移抑制因子ITIH5の肝転移抑制機構の解明と治療への応用	佐々木 健	手術部	1,300,000	補 委○	日本学術振興会
99mTc-MIBIイメージングによるミトコンドリア病の全身骨格筋評価法の開発	神宮司 メグミ	放射線部	1,100,000	補 委○	日本学術振興会
MRI分子イメージングを用いた軟骨形成性腫瘍の悪性度評価法の開発	中條 正典	放射線部	2,000,000	補 委○	日本学術振興会
敗血症性DICの生存率向上を目指して—ヒストンを標的とした新規治療戦略の探索—	伊藤 隆史	救命救急センター	5,400,000	補 委○	日本学術振興会
蘇生後脳症に対するチトクロームaa3酸化状態による脳モニタリング法の構築	垣花 泰之	救命救急センター	800,000	補 委○	日本学術振興会
院内体制整備支援事業	垣花 泰之	救命救急センター	260,195	補 委○	公益社団法人日本 臓器移植ネットワ ーク
下肢虚血再灌流障害におけるDAMPs(ヒストン、HMGB1)の動向	古別府 裕明	救命救急センター	1,100,000	補 委○	日本学術振興会
HIV感染者・エイズ患者の在宅医療・介護の環境整備事業(実地研修事業)	古川 良尚	輸血・細胞治療部	160,000	補 委○	公益財団法人エイ ズ予防財団
HIV感染者等保健福祉相談事業	古川 良尚	輸血・細胞治療部	750,000	補 委○	公益財団法人エイ ズ予防財団
広範囲腸管切除後の腸管不全関連肝障害の実験的病態解明と新規治療法への展開	向井 基	周産母子センター	1,700,000	補 委○	日本学術振興会
川崎病血管炎におけるスタチン製剤の役割と新たな治療薬としての可能性の検討	上野 健太郎	周産母子センター	600,000	補 委○	日本学術振興会
痛みの神経回路—伝達系と抑制系の相互媒介を単一ニューロンレベルで解析する	大野 幸	全身管理歯科治療部	1,000,000	補 委○	日本学術振興会
腸管不全関連肝障害の病態解明に基づくグレリン誘導周術期管理治療法の開発	大西 峻	病理部	1,000,000	補 委○	日本学術振興会
自己免疫疾患モデルを用いた新規腫瘍発生制御免疫システムの解明	近藤 智之	病理部	1,300,000	補 委○	日本学術振興会
口腔粘膜前癌病変の病理診断基準の確立	仙波 伊知郎	病理部	1,100,000	補 委○	日本学術振興会
遺伝子改変ブタを用いた病態高再現性の次世代型アルツハイマー病モデルの開発	谷本 昭英	病理部	4,500,000	補 委○	日本学術振興会
膵胆管系腫瘍における早期診断システム確立及び治療に対する反応性予測に関する試み	東 美智代	病理部	1,200,000	補 委○	日本学術振興会

小計20件

機能性ナノ磁性微粒子を使用したエクソソームの抽出と解析	盛 真一郎	光学医療診療部	500,000	補○ 委	日本学術振興会
脊髄損傷による神経因性膀胱における温度受容体の機能の解明	吉田 輝	リハビリテーション部	1,300,000	補○ 委	日本学術振興会
エスノグラフィーを用いた歯学コミュニケーション教育プログラムの開発	松本 祐子	歯科総合診療部	900,000	補○ 委	日本学術振興会
地域歯科医療教育の体系化とアウトカム基盤型教育への応用に関する研究	田口 則宏	歯科総合診療部	1,000,000	補○ 委	日本学術振興会
難治癌の新規集学的治療開発：遺伝子治療応答性への癌微小環境・悪液質の関わりと制御	上野 真一	腫瘍センター	1,000,000	補○ 委	日本学術振興会
肝炎情報センター戦略的強化事業委託費	井戸 章雄	肝疾患相談センター	4,113,000	補 委○	国立研究開発法人 国立国際医療研究センター
肝疾患診療地域連携体制強化事業業務	井戸 章雄	肝疾患相談センター	12,586,000	補 委○	鹿児島県
肉腫への革新的医薬実用化を目指した独自開発の増殖制御型アデノウイルスの医師主導治験	小賤 健一郎	探索的医療開発センター	130,478,000	補 委○	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
多機能幹細胞の腫瘍化根絶に向けた革新的ベクター技術の開発と応用	小賤 健一郎	探索的医療開発センター	2,580,000	補 委○	国立大学法人京都大学
独自開発の全身性の腫瘍溶解性・免疫療法の非臨床開発	小賤 健一郎	探索的医療開発センター	65,000,000	補 委○	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
骨軟部肉腫への腫瘍溶解・免疫誘導・癌幹細胞制圧の革新的な遺伝子ウイルス治療の開発	小賤 健一郎	探索的医療開発センター	4,900,000	補○ 委	日本学術振興会
生活者としての高齢者を支える標準化された看護・介護ケア情報の構造化と連携	宇都 由美子	医療情報部	1,900,000	補○ 委	日本学術振興会
継続診療に繋がる退院時要約作成支援システム開発のためのデータマイニング技術の応用	岩穴口 孝	医療情報部	600,000	補○ 委	日本学術振興会
ディープラーニング応用の医薬品相互作用シグナル検知システムの開発評価に関する研究	熊本 一朗	医療情報部	2,200,000	補○ 委	日本学術振興会
人工知能を応用したデータマイニングによる糖尿病合併症危険因子発見に関する研究	村永 文学	医療情報部	800,000	補○ 委	日本学術振興会
機能性RNAネットワーク解析に基づく治療抵抗性小細胞肺癌の革新的治療法開発	隈元 朋洋	総合臨床研修センター	1,500,000	補○ 委	日本学術振興会
長期絶食・経静脈栄養管理においてグレリンが消化管に与える影響に関する研究	山田 和歌	総合臨床研修センター	1,100,000	補○ 委	日本学術振興会
小児腸管内におけるESBL遺伝子と大腸菌病原遺伝子の水平伝播の実態解明	西 順一郎	医療環境安全部	1,300,000	補○ 委	日本学術振興会
地域サーベイランスシステムによる薬剤耐性菌伝播リスクの疫学的・細菌学的解析	川村 英樹	医療環境安全部	1,400,000	補○ 委	日本学術振興会
地域枠修学生離島・へき地医療実習等業務委託	大脇 哲洋	地域医療支援センター	4,718,520	補 委○	鹿児島県

小計20件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
免疫チェックポイント分子の機能解析と新規バイオマーカーの探索	夏越 祥次	病院長	2,000,000	補 委○ 小林市立病院
癌の進展に対する診断の精度向上に関する研究	夏越 祥次	病院長	2,000,000	補 委○ 国民健康保険 高原病院
上部消化器癌の微量癌細胞解析を用いた治療選択への応用	夏越 祥次	病院長	5,100,000	補○ 委 日本学術振興会
大規模検診から高浸透率家系を抽出する新しい高血圧遺伝子同定法の確立	大石 充	心臓血管内科	700,000	補○ 委 日本学術振興会
フレイル高齢者のレジストリ研究及び地域高齢者におけるフレイル予防プログラムの開発・検証	大石 充	心臓血管内科	1,000,000	補 委○ 国立研究開発法人 国立長寿医療研究センター
虚血性心疾患患者における腎機能障害と脂肪酸の関連について	大石 充	心臓血管内科	2,000,000	補 委○ えびの市
地域住民における脳血管疾患発症に対して効果的な血圧管理についての検討	大石 充	心臓血管内科	2,160,000	補 委○ 枕崎市立病院事業
虚血性心疾患患者における腎機能障害と脂肪酸の関連について	大石 充	心臓血管内科	1,300,000	補 委○ 出水市病院事業
垂水市在住高齢一般住民における前向きコホート研究	大石 充	心臓血管内科	265,000	補 委○ 垂水市
虚血性心疾患患者における腎機能障害と脂肪酸の関連について	大石 充	心臓血管内科	500,000	補 委○ 肝属郡医師会立病院
非弁膜症性心房細動患者における抗凝固薬の製造販売後比較評価研究	大石 充	心臓血管内科	450,000	補 委○ 国立大学法人琉球大学
CFAEアブレーションを軸とした慢性心房細動の包括的新規治療法の開発	桶谷 直也	心臓血管内科	700,000	補○ 委 日本学術振興会
大動脈瘤に対するマクロファージを標的とした新規診断法と治療法の探索的研究	宮田 昌明	心臓血管内科	1,400,000	補○ 委 日本学術振興会
フレイルと心不全の相互関連因子探索と心臓リハビリテーションの有効性に関する研究	窪菌 琢郎	心臓血管内科	900,000	補○ 委 日本学術振興会
成人先天性心疾患レジストリ構築および心機能・予後予測の簡易マーカーの探索的研究	高崎 州亜	心臓血管内科	1,300,000	補○ 委 日本学術振興会

小計15件

ミトコンドリアダイナミクスとオートファジーを標的としたサルコペニアの新規治療法	赤崎 雄一	心臓血管内科	1,300,000	補○ 委	日本学術振興会
血管老化・動脈硬化に対するオルタナティブオートファジーを軸とした治療法の開発	池田 義之	心臓血管内科	1,200,000	補○ 委	日本学術振興会
次世代シーケンサーによる家族性肺高血圧症の遺伝子解析:特発性肺高血圧症の機序解明	田中 佳代子	心臓血管内科	1,100,000	補○ 委	日本学術振興会
大動脈弁狭窄症における炎症、石灰化、凝固能に関するマイクロRNA,エクソソームの解析	井本 浩	心臓血管外科	1,000,000	補 委○	肝属郡医師会立病院
血小板内性VEGF-Aを分子標的とする新規大腸癌治療の臨床及び分子生物学的研究	井本 浩	心臓血管外科	600,000	補○ 委	日本学術振興会
生活習慣病が消化器疾患や腎疾患の病態進展に及ぼす影響に関する研究	井戸 章雄	消化器内科	1,000,000	補 委○	国民健康保険 高原病院
消化器疾患におけるアルデヒド呼吸試験の有用性の検討	井戸 章雄	消化器内科	5,200,000	補 委○	出水市病院事業
難治性潰瘍性大腸炎を対象としたアドレノメデュリン製剤による医師主導治験 Phase II	井戸 章雄	消化器内科	2,474,000	補 委○	国立大学法人宮崎大学
高リスク肝芽腫に対するイリノテカン、ビンクリスチン、テムシロリムス併用療法の有効性に関する国際共同臨床試験	井戸 章雄	消化器内科	455,000	補 委○	広島大学
好中球由来ペプチドの膵炎に対する影響と臨床的意義の検討	橋元 慎一	消化器内科	500,000	補○ 委	日本学術振興会
高フルクトース食による腸内細菌叢構成異常が肝炎症や発癌、癌進展に及ぼす影響の解析	田ノ上 史郎	消化器内科	1,700,000	補○ 委	日本学術振興会
膵臓癌細胞由来オルガノイドモデルを用いた放射線化学療法耐性の機序解明	川崎 洋太	消化器外科	700,000	補○ 委	日本学術振興会
双方向性画像支援機能を持つ胆道・膵再建シミュレーターおよび遠隔指導システムの開発	前村 公成	消化器外科	600,000	補○ 委	日本学術振興会
内視鏡下甲状腺悪性腫瘍手術における根治性・安全性の向上に関する研究	中条 哲浩	消化器外科	2,000,000	補○ 委	日本学術振興会
手術中における消化器外科医のストレス評価及び医療安全を目指した基礎的データの構築	迫田 雅彦	消化器外科	300,000	補○ 委	日本学術振興会
免疫チェックポイント分子の機能解析とその制御を標的とした新しい治療法の開発	有上 貴明	消化器外科	1,300,000	補○ 委	日本学術振興会
神経疾患における免疫病態の解明と治療法開発に関する研究	高嶋 博	神経内科	500,000	補 委○	国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター
自己免疫性脳炎・脳症に関する研究	高嶋 博	神経内科	1,300,000	補 委○	出水市病院事業
筋病理と次世代シーケンサーを用いたミトコンドリア病診断率向上に関する検討	高嶋 博	神経内科	1,000,000	補 委○	肝属郡医師会立病院
HAM患者を対象としたステロイド第IIb相臨床試験	松浦 英治	神経内科	1,300,000	補 委○	聖マリアンナ

免疫介在性イオンチャネル病の病態解析および新規抗原の解明	渡邊 修	神経内科	1,100,000	補○ 委	日本学術振興会
てんかん原性病変におけるメチオニン集積亢進機序の解明	花谷 亮典	脳神経外科	1,200,000	補○ 委	日本学術振興会
腰部脊柱管狭窄症における脊柱管内炎症ネットワークの解明	山畑 仁志	脳神経外科	1,100,000	補○ 委	日本学術振興会
疼痛・情動行動における脳脊髄FFAR1システムの重要性を検証する	大吉 達樹	脳神経外科	1,100,000	補○ 委	日本学術振興会
悪性グリオーマの腫瘍内免疫におけるWntの役割解明と治療への応用	平野 宏文	脳神経外科	700,000	補○ 委	日本学術振興会
脳卒中後疼痛・情動異常発症メカニズムの検討「ミクログリア活性化仮説」の評価	有田 和徳	脳神経外科	1,200,000	補○ 委	日本学術振興会
重症喘息およびCOPD患者の地域特性に関連したコホート研究	井上 博雅	呼吸器内科	1,300,000	補 委○	出水市病院事業
新規の肺癌診断マーカーの開発	井上 博雅	呼吸器内科	750,000	補 委○	肝属郡医師会立病院
新規脂質代謝酵素に注目した気管支喘息の病態解析	井上 博雅	呼吸器内科	1,400,000	補○ 委	日本学術振興会
血液・気道上皮被覆液miRNA発現解析に基づく呼吸器疾患バイオマーカーの検討	寒川 卓哉	呼吸器内科	900,000	補○ 委	日本学術振興会
特発性肺線維症・肺癌に共通する機能性RNA分子ネットワークの探索	上川路 和人	呼吸器内科	2,300,000	補○ 委	日本学術振興会
抗原非特異的な喘息増悪の病態におけるTRPチャネルの役割に関する研究	町田 健太郎	呼吸器内科	900,000	補○ 委	日本学術振興会
肺線維症・肺癌に共通する機能性RNA分子ネットワークの探索と革新的治療法の開発	俣木 浩子	呼吸器内科	1,400,000	補○ 委	日本学術振興会
肺癌抗体治療のターゲット分子におけるスプライス異常と効果の分子生物学的相関研究	佐藤 雅美	呼吸器外科	1,400,000	補○ 委	日本学術振興会
TLRsとその下流因子の肺癌進行における役割の解明	青木 雅也	呼吸器外科	1,000,000	補○ 委	日本学術振興会
アロマ芳香浴の有効性・作用機序・安全性の検討-ストレス関連疾患の治療・予防からのアプローチ	浅川 明弘	心身医療科	2,990,000	補 委○	国立研究開発法人 日本医療研究開発 機構
新たな骨髄-脳相関・骨髄由来細胞を標的とした癌性悪液質・サルコペニアの治療法開発	浅川 明弘	心身医療科	900,000	補○ 委	日本学術振興会
マイクロRNAによる新規泌尿器がん治療の開発のためのin vivo実験	中川 昌之	泌尿器科	2,000,000	補 委○	小林市立病院
マイクロRNAによる新規泌尿器がん治療の開発のためのin vivo実験	中川 昌之	泌尿器科	2,000,000	補 委○	肝属郡医師会立病院
治療抵抗性腎癌における機能性RNA分子ネットワークの探索と革新的治療法の開発	中川 昌之	泌尿器科	4,900,000	補○ 委	日本学術振興会

小計20件

革新的腎癌治療法の開発を目指したゲノム編集による癌促進型マイクロRNAの機能解析	井手迫 俊彦	泌尿器科	1,100,000	補○ 委	日本学術振興会
ゲノム編集技術による癌促進型マイクロRNAの機能解析と革新的膀胱癌治療法の開発	榎田 英樹	泌尿器科	5,300,000	補○ 委	日本学術振興会
尿路上皮癌・増殖シグナルを遮断するマイクロRNAの探索に基づく革新的治療法の開発	吉野 裕史	泌尿器科	900,000	補○ 委	日本学術振興会
膀胱癌・新規癌抑制型マイクロRNAが制御する機能性RNA分子ネットワークの探索	松下 良介	泌尿器科	1,500,000	補○ 委	日本学術振興会
ゲノム編集技術を用いた腎癌における分子標的治療薬への耐性化機構の解明	米森 雅也	泌尿器科	1,600,000	補○ 委	日本学術振興会
高分子ナノミセルに搭載した転移抑制マイクロRNAを用いた核酸医薬への挑戦	鎌野 秀一	泌尿器科	1,000,000	補○ 委	日本学術振興会
ATLにおける慢性活性化T細胞受容体経路を標的とした創薬基盤の構築	吉満 誠	血液・膠原病内科	1,400,000	補○ 委	日本学術振興会
成人T細胞白血病・リンパ腫に対する抗アポトーシス蛋白を標的とする新規治療開発	石塚 賢治	血液・膠原病内科	1,100,000	補○ 委	日本学術振興会
枕崎知久における糖尿病重症化予防に関する研究	西尾 善彦	糖尿病・内分泌内科	1,080,000	補 委○	枕崎市立病院事業
糖尿病性神経障害の臨床病期と血圧日内変動の関連	西尾 善彦	糖尿病・内分泌内科	1,300,000	補 委○	出水市病院事業
糖尿病性神経障害と血圧日内変動との関係	西尾 善彦	糖尿病・内分泌内科	250,000	補 委○	肝属郡医師会立病院
J-DREAMSコホートを利用した糖尿病患者の合併症進展に関する縦断研究	西尾 善彦	糖尿病・内分泌内科	300,000	補 委○	えびの市
新規蛍光物質Glu-HMRGの臨床応用と遺伝学的アプローチからの精度向上	新田 吉陽	乳腺・甲状腺外科	700,000	補○ 委	日本学術振興会
幹細胞マーカーを用いた癌細胞競合下における真の浸潤・転移癌細胞の同定と機序解明	喜多 芳昭	乳腺・甲状腺外科	700,000	補○ 委	日本学術振興会
乳癌治療時の遊離真皮脂肪片(FDFG)移植に関する基礎的・臨床的研究	喜島 祐子	乳腺・甲状腺外科	1,100,000	補○ 委	日本学術振興会
有棘赤血球舞踏病とマイトファジー 分子レベルの病態機序解明と神経変性予防法の開発	佐野 輝	神経科精神科	5,800,000	補○ 委	日本学術振興会
特異な中間表現型を有した統合失調症多発家系から同定した責任遺伝子の解析	中村 雅之	神経科精神科	500,000	補○ 委	日本学術振興会
薬剤性パーキンソンニズムにおけるシナプトタグミンファミリーの関与についての研究	林 岳宏	神経科精神科	500,000	補○ 委	日本学術振興会
アジア国際共同臨床試験を通じたDS-ALLにおける標準治療の開発	岡本 康裕	小児科	17,970,884	補 委○	国立研究開発法人 日本医療研究開発 機構
DCKプロモーターの脱メチル化によるネララビン耐性機構の解明と耐性予防法の確立	岡本 康裕	小児科	1,400,000	補○ 委	日本学術振興会

小計20件

枕崎地区における小児予防摂取率向上と小児医療体制充実に関する研究	河野 嘉文	小児科	1,080,000	補 委○	枕崎市立病院事業
出水地区における小児疾患の予防策と治療成績の向上に関する研究	河野 嘉文	小児科	2,600,000	補 委○	出水市病院事業
薬物動態解析と代謝酵素活性分析による安全かつ効果的な小児造血細胞移植術の確立	河野 嘉文	小児科	1,400,000	補○ 委	日本学術振興会
血小板VEGF-Aと足細胞との連関を通じて、小児特発性ネフローゼ症候群における血小板異常の意義を解明する	宮園 明典	小児科	450,000	補 委○	公益財団法人 森永奉仕会
アルデヒド代謝からみたシクロオキサミド心筋障害予防法の探索	西川 拓朗	小児科	1,600,000	補○ 委	日本学術振興会
カテーテル関連敗血症に対する腸管粘膜の免疫誘導による新規治療法の開発	加治 建	小児外科	1,000,000	補○ 委	日本学術振興会
重症心身障害児に対する3Dスキャナーを用いた腹腔鏡ポータルアウトシステムの開発	山田 耕嗣	小児外科	1,100,000	補○ 委	日本学術振興会
ハイドロゲン・ナノバブルを用いた壊死性腸炎に対する画期的治療法の開発	川野 孝文	小児外科	1,400,000	補○ 委	日本学術振興会
壊死性腸炎に対するグルカゴンライクペプチド-2を用いた革新的新規治療法の開発	中目 和彦	小児外科	1,400,000	補○ 委	日本学術振興会
壊死性腸炎に対するグレリンを用いた発症メカニズム解明と革新的新規予防治療法の開発	町頭 成郎	小児外科	1,500,000	補○ 委	日本学術振興会
救命困難な超重症NECに対する大建中湯を用いた実験的予防法開発	榎屋 隆太	小児外科	1,600,000	補○ 委	日本学術振興会
婦人科悪性腫瘍に対する縮小手術の研究	小林 裕明	産科、婦人科	1,300,000	補 委○	出水市病院事業
高度腫瘍移行性と低毒性を可能としたナノメディシン抗がん剤の婦人科腫瘍における検討	小林 裕明	産科、婦人科	1,400,000	補○ 委	日本学術振興会
不妊専門相談支援推進研究	中條 有紀子	産科、婦人科	619,542	補 委○	鹿児島県
大型動物脊髄損傷モデルを用いたiPS細胞由来神経幹細胞移植による再生治療研究	あべ松 昌彦	整形外科・リウマチ外科	1,400,000	補○ 委	日本学術振興会
未分化/未分類肉腫の治療ターゲット解析	小宮 節郎	整形外科・リウマチ外科	2,000,000	補 委○	小林市立病院
骨形成タンパク(BMP)の標的遺伝子Atoh8の骨代謝における役割	小宮 節郎	整形外科・リウマチ外科	500,000	補 委○	肝属郡医師会立病院
骨軟部腫瘍の細胞外マトリックス制御による抗腫瘍薬デリバリー改善の手法開発	永野 聡	整形外科・リウマチ外科	900,000	補○ 委	日本学術振興会
脊柱靭帯骨化症発症に重要な内軟骨性骨化変化の責任機能遺伝子同定と機能解析	河村 一郎	整形外科・リウマチ外科	1,000,000	補○ 委	日本学術振興会
軟骨肉腫鑑別分子マーカーとしての尿素輸送体UT-Bの発現・機能解析	佐々木 裕美	整形外科・リウマチ外科	1,200,000	補○ 委	日本学術振興会

Undifferentiated pleomorphic sarcoma治療開発	泉 俊彦	整形外科・リウマチ外科	1,700,000	補○ 委	日本学術振興会
後縦靭帯骨化症関連遺伝子CDC5Lの機能～新たな骨芽細胞コミットメント機構解明	富永 博之	整形外科・リウマチ外科	1,200,000	補○ 委	日本学術振興会
内軟骨性骨化における後縦靭帯骨化症関連遺伝子STK38Lの役割と標的分子の解析	梶 博則	整形外科・リウマチ外科	1,400,000	補○ 委	日本学術振興会
遺伝子組換えシルクによる創傷治療薬、創傷被覆材、再生医療用素材の開発に関する研究	金蔵 拓郎	皮膚科	4,000,000	補 委○	国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 生物機能利用研究部門
HDAC阻害剤の併用療法のターゲットとしてのMAPKシグナル経路の可能性	指宿 敦子	皮膚科	1,900,000	補○ 委	日本学術振興会
好中球機能からみた炎症性皮膚疾患の病態解明とその治療法の確立	東 裕子	皮膚科	1,000,000	補○ 委	日本学術振興会
核内受容体をターゲットとしたHDAC阻害剤の併用療法の開発	藤井 一恭	皮膚科	700,000	補○ 委	日本学術振興会
円形脱毛症の病態形成におけるTCRV $\delta 1 + \gamma \delta$ T細胞の新規の役割	内田 洋平	皮膚科	1,200,000	補○ 委	日本学術振興会
北薩地区における成人眼疾患の概要	坂本 泰二	眼科	1,300,000	補 委○	出水市病院事業
鹿児島県内眼科疾患の研究	坂本 泰二	眼科	500,000	補 委○	肝属郡医師会立病院
総合硝子体学の研究:基盤病態解明と治療の研究	坂本 泰二	眼科	3,700,000	補○ 委	日本学術振興会
ヒト極性網膜色素上皮細胞を使った網脈絡膜疾患の病態制御に関する研究	園田 祥三	眼科	700,000	補○ 委	日本学術振興会
眼軸長伸長に伴う眼底微細構造変化の解明	山下 高明	眼科	1,200,000	補○ 委	日本学術振興会
ヒト極性網膜色素上皮細胞を用いた上皮間葉転換早期の病態解明	寺崎 寛人	眼科	1,000,000	補○ 委	日本学術振興会
網膜静脈閉塞症の分子病態と脈絡膜の関連についての検討	大塚 寛樹	眼科	900,000	補○ 委	日本学術振興会
HTLV-1関連眼疾患の診断法確立のための臨床的研究	中尾 久美子	眼科	800,000	補○ 委	日本学術振興会
鹿児島県内の小中学生における耳鼻咽喉科疾患の疫学的調査研究	黒野 祐一	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	640,700	補 委○	西之表市
垂水市内の小中学生における耳鼻咽喉科疾患の疫学調査研究	黒野 祐一	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	234,090	補 委○	垂水市
屋久島町における耳鼻咽喉科疾患の疫学的調査	黒野 祐一	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	732,000	補 委○	屋久島町
垂水市内の小中学生における耳鼻咽喉科疾患の疫学的調査研究	黒野 祐一	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	234,090	補 委○	垂水市

ホスホリルコリンの二相作用を応用した新たな粘膜ワクチンの開発	黒野 祐一	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	1,200,000	補○ 委	日本学術振興会
粘膜免疫応答誘導型経皮ワクチンの開発	永野 広海	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	1,300,000	補○ 委	日本学術振興会
ホスホリルコリン経鼻免疫追加による新たな肺炎球菌ワクチン接種プログラムの開発	間世田 佳子	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	1,400,000	補○ 委	日本学術振興会
鼻咽腔関連リンパ組織(NALT)の免疫記憶機能を応用した新規粘膜ワクチンの開発	大堀 純一郎	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	1,600,000	補○ 委	日本学術振興会
IgA腎症における口蓋扁桃の免疫応答と新たなバイオマーカーの開発	地村 友宏	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	1,300,000	補○ 委	日本学術振興会
ホスホリルコリン舌下投与によるアレルギー性鼻炎の制御機構に関する研究	牧瀬 高穂	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	1,800,000	補○ 委	日本学術振興会
高分解能エネルギー代謝MRイメージング法の開発と脳腫瘍への応用	吉浦 敬	放射線科	1,300,000	補○ 委	日本学術振興会
子宮腫瘍におけるAACID imagingの有用性の検討	熊谷 雄一	放射線科	2,000,000	補○ 委	日本学術振興会
パーキンソン病における神経変性を可視化する細胞内タンパクイメージング法の開発	上村 清央	放射線科	900,000	補○ 委	日本学術振興会
酸素代謝強調MR画像による肺癌の放射線・化学療法効果と予後予測法の確立	福倉 良彦	放射線科	900,000	補○ 委	日本学術振興会
放射線治療の予後判定の可能性(放射線抵抗性の獲得と癌の浸潤・転移との関連性)	犬童 寛子	顎顔面放射線科	1,100,000	補○ 委	日本学術振興会
慢性疼痛における痛覚伝導路でのヘム・オキシゲナーゼの鎮痛・発痛効果の検討	五代 幸平	麻酔科	800,000	補○ 委	日本学術振興会
敗血症性腎障害におけるアドレナリン受容体の関与	上村 裕一	麻酔科	1,600,000	補○ 委	日本学術振興会
プロボフォール注入症候群発症の機序解明とカルニチンによる抑制効果	森山 孝宏	麻酔科	500,000	補○ 委	日本学術振興会
三叉神経領域の痛覚日内変動機構の解明-効果的な時間薬物療法の確立に向けて-	杉村 光隆	歯科麻酔科	1,100,000	補○ 委	日本学術振興会
左室拡張能、圧受容体反射感受性とバイオマーカーによる術後心血管リスク因子の同定	糞谷 淳	歯科麻酔科	500,000	補○ 委	日本学術振興会
視覚反復刺激療法と大脳刺激による視野障害の治療法の開発と臨床応用	衛藤 誠二	リハビリテーション科	1,100,000	補○ 委	日本学術振興会
脳損傷後の運動障害に対して多様な物理的刺激を応用した新しいリハビリ技術の開発	下堂 菌 恵	リハビリテーション科	1,600,000	補○ 委	日本学術振興会
県民の歯科口腔保険実態調査に係る調査票集計・分析評価業務	於保 孝彦	口腔保健科	550,000	補 委○	鹿児島県
口腔アンギノサスレンサ球菌による深部感染症の発症機構の解析と宿主リスク評価法	山口 泰平	口腔保健科	800,000	補○ 委	日本学術振興会

小計20件

新規根面う蝕細菌種を標的とした高齢者QOL向上法の開発	小幡 純子	口腔保健科	1,200,000	補○ 委	日本学術振興会
口腔バイオフィームによる動脈硬化誘発機序の解明ー菌種の多様性が導く病原性ー	長田 恵美	口腔保健科	1,100,000	補○ 委	日本学術振興会
脳腸モデルと脳透明化法によるてんかん治療を応用した唾液分泌と嚥下の促進機序の解明	菅 真有	矯正歯科	1,100,000	補○ 委	日本学術振興会
幼少期ストレス誘発性筋異常疼痛の治療に対する薬理遺伝学を用いた検討	古川 みなみ	矯正歯科	1,100,000	補○ 委	日本学術振興会
健康長寿社会を担う歯科医学教育改革	宮脇 正一	矯正歯科	1,000,000	補 委○	国立大学法人岡山大学
遺伝子多型に応じた機能性ディスプレイの治療がブラキシズムに及ぼす効果の解明	宮脇 正一	矯正歯科	1,500,000	補○ 委	日本学術振興会
ヒトiPS細胞への転写因子Msx2導入による骨芽細胞への分化・骨形成に関する研究	山本 芳丈	矯正歯科	600,000	補○ 委	日本学術振興会
カリウムイオン競合型アシッドブロッカーを応用したブラキシズムの根本療法の開発	永山 邦宏	矯正歯科	1,800,000	補○ 委	日本学術振興会
不正咬合に起因する“顎口腔サルコペニア”の実態と内分泌・免疫系因子との関連	前田 綾	矯正歯科	1,100,000	補○ 委	日本学術振興会
消化管運動促進薬とH2ブロッカーによる咀嚼筋障害に対する治療効果の検討	大賀 泰彦	矯正歯科	1,700,000	補○ 委	日本学術振興会
胃食道逆流と関連する睡眠時ブラキシズムのPPI治療関連因子の探索	大牟禮 治人	矯正歯科	600,000	補○ 委	日本学術振興会
視床下部-下垂体-副腎軸・脳腸相関によるストレス調整と顎口腔機能の関連性の解明	八木 孝和	矯正歯科	700,000	補○ 委	日本学術振興会
自動埋入型骨固定装置による顎骨の成長促進が小児の睡眠呼吸障害に及ぼす効果の検討	友成 博	矯正歯科	900,000	補○ 委	日本学術振興会
顎骨の劣成長に対する外科的矯正治療が睡眠時無呼吸と胃食道逆流に及ぼす効果の解明	國則 貴玄	矯正歯科	500,000	補○ 委	日本学術振興会
マウス歯根形成端周囲組織への直接的遺伝子導入法(GTPT)の開発と応用	窪田 直子	小児歯科	1,000,000	補○ 委	日本学術振興会
流体解析を応用したダウン症児OSASの部位特定と歯科的治療モデルの構築	佐藤 秀夫	小児歯科	1,300,000	補○ 委	日本学術振興会
小児OSASの上顎側方急速拡大は漏斗胸を予防するー流体構造連成解析を用いてー	山崎 要一	小児歯科	500,000	補○ 委	日本学術振興会
いびきの音響解析を用いたOSAS診断のための新たな検査法の開発	菅 北斗	小児歯科	900,000	補○ 委	日本学術振興会
口呼吸小児における口唇閉鎖訓練の有効性の検討とスクリーニング法の確立	村上 大輔	小児歯科	800,000	補○ 委	日本学術振興会
咀嚼・嚥下機能の新評価法の確立による口唇閉鎖不全と異常口腔機能の関連性の解明	武元 嘉彦	小児歯科	2,100,000	補○ 委	日本学術振興会

MMP活性抑制剤を配合した新規接着剤の研究	星加 知宏	保存科	1,100,000	補○ 委	日本学術振興会
接着性覆髄剤を応用した新たなコンポジットレジン修復法の開発	西谷 佳浩	保存科	1,100,000	補○ 委	日本学術振興会
2型糖尿病ラットへの抗糖尿病薬投与が骨インプラント結合に与える影響について	橋口 千琴	歯周病科	500,000	補○ 委	日本学術振興会
脱分化脂肪細胞(DFAT)由来サイトカインカクテルを用いた新規骨再生療法の開発	篠原 敬哉	歯周病科	1,100,000	補○ 委	日本学術振興会
歯周炎における骨細胞の新たな機能の解明	瀬名 浩太郎	歯周病科	1,100,000	補○ 委	日本学術振興会
妊娠性糖尿病におけるインスリン抵抗性亢進への歯周病の関与に関する包括的研究	長谷川 梢	歯周病科	1,300,000	補○ 委	日本学術振興会
In situ 組織工学アプローチを応用した生体内完結型歯周再生療法の新試み	白方 良典	歯周病科	1,000,000	補○ 委	日本学術振興会
セメント芽細胞分化誘導を基軸とした歯周組織再生型インプラントの基盤開発	迫田 賢二	歯周病科	1,200,000	補○ 委	日本学術振興会
強力な骨形成タンパクBMP-9と脂肪組織由来細胞を活用した新規再生療法の開発	野口 和行	歯周病科	3,100,000	補○ 委	日本学術振興会
咀嚼感覚と耐久性に優れた新規ウレタン系軟性裏装材の開発研究	門川 明彦	冠・ブリッジ科	500,000	補○ 委	日本学術振興会
審美性と接着耐久性を兼ね備えたダイレクトボンディングブリッジの開発	峰元 里子	冠・ブリッジ科	700,000	補○ 委	日本学術振興会
オートファジーを介した黄色ブドウ球菌排除の分子基盤解明	原田 佳枝	義歯補綴科	1,100,000	補○ 委	日本学術振興会
骨置換型材料を用いたオーダーメイド型骨造成法の開発	益崎 与泰	義歯補綴科	900,000	補○ 委	日本学術振興会
ケアの負担軽減に繋げるための義歯に付与するブランク付着抑制能の検討	西 恭宏	義歯補綴科	1,200,000	補○ 委	日本学術振興会
自己体性幹細胞の多軸的制御と可視的評価による委縮顎骨の増生治療開発	西村 正宏	義歯補綴科	4,400,000	補○ 委	日本学術振興会
コンビネーション保湿による新規保湿方法の開発とその有効性に関する多軸的評価	村上 格	義歯補綴科	1,000,000	補○ 委	日本学術振興会
インプラント体周囲組織再生部のin situ bacteriologyの融合	藤島 慶	義歯補綴科	1,100,000	補○ 委	日本学術振興会
高齢義歯装着患者の摂食機能と栄養状態の関連ならびに栄養食事指導効果の検証	峰元 洋光	義歯補綴科	1,600,000	補○ 委	日本学術振興会
神経誘導による顎骨再生治療法の開発	末廣 史雄	義歯補綴科	1,300,000	補○ 委	日本学術振興会
長島町における住民の口腔疾患に関する調査研究	杉浦 剛	口腔外科	1,000,000	補 委○	長島町

薩摩川内市鹿島町における住民の口腔疾患の保健管理に関する研究	杉浦 剛	口腔外科	1,000,000	補 委○	薩摩川内市
転移先臓器と癌幹細胞を標的とした機能性RNAによる口腔癌新規治療法の開発	杉浦 剛	口腔外科	2,800,000	補○ 委	日本学術振興会
口腔癌の循環癌細胞分離によるリアルタイム液状細胞診を用いた個別化療法の開発	別府 真広	口腔外科	1,100,000	補○ 委	日本学術振興会
癌遺伝子 Δ Np63とmicroRNAを介した癌の浸潤・転移機構の解析と治療応用	後藤 雄一	口腔外科	1,200,000	補○ 委	日本学術振興会
口腔癌における循環癌細胞の分離による個別化治療法の開発	山下 麻由美	口腔外科	1,400,000	補○ 委	日本学術振興会
カンジダ卵黄抗体と蛍光色素を用いた新しいカンジダ検出法の開発、簡便化と迅速化	上川 善昭	口腔外科	900,000	補○ 委	日本学術振興会
唾液/血液中の腫瘍核酸(cfDNAとmiRNA)による数理腫瘍学的な口腔癌診断法	中村 康大	口腔外科	1,200,000	補○ 委	日本学術振興会
口腔癌の浸潤・転移における低酸素応答がん幹細胞マーカーの意義	比地岡 浩志	口腔外科	700,000	補○ 委	日本学術振興会
うがい液からのDNAメチル化異常検出による口腔癌発癌予測システムの開発	浜田 倫史	口腔外科	1,300,000	補○ 委	日本学術振興会
瘢痕拘縮抑制効果を示す自己治療誘導型接着性多孔膜の開発	岐部 俊郎	口腔顎顔面外科	900,000	補○ 委	日本学術振興会
治療選択を目的とした唾液腺癌のsubtype分類の確立	吉村 卓也	口腔顎顔面外科	1,300,000	補○ 委	日本学術振興会
新規樹立したSnail高発現OSCC細胞株を用いた間葉上皮転換機構の解明	久米 健一	口腔顎顔面外科	900,000	補○ 委	日本学術振興会
口蓋裂術後の言語障害の視覚的フィードバックを目指す新たな音声可視化システムの構築	手塚 征宏	口腔顎顔面外科	700,000	補○ 委	日本学術振興会
歯性感染症における異種細胞相互作用ならびに細胞極性調節因子と感染防御能の関連解析	石畑 清秀	口腔顎顔面外科	700,000	補○ 委	日本学術振興会
新規ニューラルネットワークを用いた口蓋裂異常構音の可視化診断・訓練システムの開発	中村 典史	口腔顎顔面外科	5,400,000	補○ 委	日本学術振興会
次世代型生体吸収性ハイドロキシアパタイト表面被覆Mg合金の骨内変化に関する研究	野添 悦郎	口腔顎顔面外科	1,100,000	補○ 委	日本学術振興会
歯髄幹細胞による認知症の学習・記憶障害改善効果についての検討	鈴木 甫	口腔顎顔面外科	600,000	補○ 委	日本学術振興会
エナメル上皮腫の多様な浸潤発育機構の解明	瀧上 貴央	口腔顎顔面外科	1,600,000	補○ 委	日本学術振興会
HIV診療医師情報網支援事業	橋口 照人	検査部	199,000	補 委○	独立行政法人国立病院機構九州医療センターAIDS/HIV総合治療センター
無核の血小板・赤血球のプログラム細胞死の動態解析と病態検査学への導入展開	橋口 照人	検査部	4,400,000	補○ 委	日本学術振興会

漢方薬は慢性腎臓病の治療薬となり得るか？：漢方薬の炎症制御機構解明へのチャレンジ	大山 陽子	検査部	1,100,000	補○ 委	日本学術振興会
肺癌肝転移抑制因子ITIH5の肝転移抑制機構の解明と治療への応用	佐々木 健	手術部	1,300,000	補○ 委	日本学術振興会
99mTc-MIBIイメージングによるミトコンドリア病の全身骨格筋評価法の開発	神宮司 メグミ	放射線部	1,100,000	補○ 委	日本学術振興会
MRI分子イメージングを用いた軟骨形成性腫瘍の悪性度評価法の開発	中條 正典	放射線部	2,000,000	補○ 委	日本学術振興会
敗血症性DICの生存率向上を目指してーヒストンを標的とした新規治療戦略の探索ー	伊藤 隆史	救命救急センター	5,400,000	補○ 委	日本学術振興会
蘇生後脳症に対するチトクロームaa3酸化状態による脳モニタリング法の構築	垣花 泰之	救命救急センター	800,000	補○ 委	日本学術振興会
院内体制整備支援事業	垣花 泰之	救命救急センター	260,195	補 委○	公益社団法人日本臓器移植ネットワーク
下肢虚血再灌流障害におけるDAMPs(ヒストン、HMGB1)の動向	古別府 裕明	救命救急センター	1,100,000	補○ 委	日本学術振興会
HIV感染者・エイズ患者の在宅医療・介護の環境整備事業(実地研修事業)	古川 良尚	輸血・細胞治療部	160,000	補 委○	公益財団法人エイズ予防財団
HIV感染者等保健福祉相談事業	古川 良尚	輸血・細胞治療部	750,000	補 委○	公益財団法人エイズ予防財団
広範囲腸管切除後の腸管不全関連肝障害の実験的病態解明と新規治療法への展開	向井 基	周産母子センター	1,700,000	補○ 委	日本学術振興会
川崎病血管炎におけるスタチン製剤の役割と新たな治療薬としての可能性の検討	上野 健太郎	周産母子センター	600,000	補○ 委	日本学術振興会
痛みの神経回路ー伝達系と抑制系の相互媒介を単一ニューロンレベルで解析する	大野 幸	全身管理歯科治療部	1,000,000	補○ 委	日本学術振興会
腸管不全関連肝障害の病態解明に基づくグレリン誘導周術期管理治療法の開発	大西 峻	病理部	1,000,000	補○ 委	日本学術振興会
自己免疫疾患モデルを用いた新規腫瘍発生制御免疫システムの解明	近藤 智之	病理部	1,300,000	補○ 委	日本学術振興会
口腔粘膜前癌病変の病理診断基準の確立	仙波 伊知郎	病理部	1,100,000	補○ 委	日本学術振興会
遺伝子改変ブタを用いた病態高再現性の次世代型アルツハイマー病モデルの開発	谷本 昭英	病理部	4,500,000	補○ 委	日本学術振興会
膵胆管系腫瘍における早期診断システム確立及び治療に対する反応性予測に関する試み	東 美智代	病理部	1,200,000	補○ 委	日本学術振興会
機能性ナノ磁性微粒子を使用したエクソソームの抽出と解析	盛 真一郎	光学医療診療部	500,000	補○ 委	日本学術振興会
脊髄損傷による神経因性膀胱における温度受容体の機能の解明	吉田 輝	リハビリテーション部	1,300,000	補○ 委	日本学術振興会

小計20件

エスノグラフィーを用いた歯学コミュニケーション教育プログラムの開発	松本 祐子	歯科総合診療部	900,000	補○ 委	日本学術振興会
地域歯科医療教育の体系化とアウトカム基盤型教育への応用に関する研究	田口 則宏	歯科総合診療部	1,000,000	補○ 委	日本学術振興会
難治癌の新規集学的治療開発：遺伝子治療応答性への癌微小環境・悪液質の関わりと制御	上野 真一	腫瘍センター	1,000,000	補○ 委	日本学術振興会
肝炎情報センター戦略的強化事業委託費	井戸 章雄	肝疾患相談センター	4,113,000	補 委○	国立研究開発法人 国立国際医療研究センター
肝疾患診療地域連携体制強化事業業務	井戸 章雄	肝疾患相談センター	12,586,000	補 委○	鹿児島県
肉腫への革新的医薬実用化を目指した独自開発の増殖制御型アデノウイルスの医師主導治験	小賤 健一郎	探索的医療開発センター	130,478,000	補 委○	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
多機能幹細胞の腫瘍化根絶に向けた革新的ベクター技術の開発と応用	小賤 健一郎	探索的医療開発センター	2,580,000	補 委○	国立大学法人京都大学
独自開発の全身性の腫瘍溶解性・免疫療法の非臨床開発	小賤 健一郎	探索的医療開発センター	65,000,000	補 委○	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
骨軟部肉腫への腫瘍溶解・免疫誘導・癌幹細胞抑制の革新的な遺伝子ウイルス治療の開発	小賤 健一郎	探索的医療開発センター	4,900,000	補○ 委	日本学術振興会
生活者としての高齢者を支える標準化された看護・介護ケア情報の構造化と連携	宇都 由美子	医療情報部	1,900,000	補○ 委	日本学術振興会
継続診療に繋がる退院時要約作成支援システム開発のためのデータマイニング技術の応用	岩穴口 孝	医療情報部	600,000	補○ 委	日本学術振興会
ディープラーニング応用の医薬品相互作用シグナル検知システムの開発評価に関する研究	熊本 一朗	医療情報部	2,200,000	補○ 委	日本学術振興会
人工知能を応用したデータマイニングによる糖尿病合併症危険因子発見に関する研究	村永 文学	医療情報部	800,000	補○ 委	日本学術振興会
機能性RNAネットワーク解析に基づく治療抵抗性小細胞肺癌の革新的治療法開発	隈元 朋洋	総合臨床研修センター	1,500,000	補○ 委	日本学術振興会
長期絶食・経静脈栄養管理においてグレリンが消化管に与える影響に関する研究	山田 和歌	総合臨床研修センター	1,100,000	補○ 委	日本学術振興会
小児腸管内におけるESBL遺伝子と大腸菌病原遺伝子の水平伝播の実態解明	西 順一郎	医療環境安全部	1,300,000	補○ 委	日本学術振興会
地域サーベイランスシステムによる薬剤耐性菌伝播リスクの疫学的・細菌学的解析	川村 英樹	医療環境安全部	1,400,000	補○ 委	日本学術振興会
地域枠修学生離島・へき地医療実習等業務委託	大脇 哲洋	地域医療支援センター	4,718,520	補 委○	鹿児島県
地域医療支援センター設置事業業務委託	大脇 哲洋	地域医療支援センター	21,884,000	補 委○	鹿児島県
食道癌に対する個別化治療、予後予測を可能とするN型糖鎖マーカーの検索	内門 泰斗	医療環境安全部	1,200,000	補○ 委	日本学術振興会

小計20件

治験の実施に関する研究[サリドマ イド]	道園 久美子	地域医療連携セン ター	100,000	補 委○	公益社団法人日本 医師会
ポリコゾール代謝物濃度と CYP2C19遺伝子多型を考慮した TDMへの応用	茂見 茜里	薬剤部	550,000	補○ 委	日本学術振興会
ESBL産生大腸菌感染症に対する オキサセフェム系抗菌薬のPK-PD 解析	中嶋 洋生	薬剤部	550,000	補○ 委	日本学術振興会
エクソソームを指標とした脊髄小 脳変性症とCaspr4との関連性の 検討	益田 将吾	薬剤部	560,000	補○ 委	日本学術振興会
神経接着分子Caspr4を介した神 経精神疾患における新規治療戦 略	武田 泰生	薬剤部	1,500,000	補○ 委	日本学術振興会
へき地診療所に派遣される看護 師に対する教育研修システム構築 のための基礎的研究	楠元 裕佳	看護部	600,000	補○ 委	日本学術振興会
大規模災害を想定した緊急時の 院内放射線画像ネットワークの構 築	西郷 康正	臨床技術部	550,000	補○ 委	日本学術振興会
GlycoCESTイメージングを用いた 肝臓糖代謝定量イメージング法の 確立	岩永 崇	臨床技術部	1,800,000	補○ 委	日本学術振興会

小計8件

合計243件

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入す
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
1	Sasaki Y, Ikeda Y, Iwabayashi M, et al.	心臓血管内科	The Impact of Autophagy on Cardiovascular Senescence and Diseases.	Int Heart J. 2017 Oct 21;58(5):666-673.	Review
2	Yuasa T, Takenaka T, Higuchi K, et al.	心臓血管内科	Fabry disease.	J Echocardiogr. 2017 Dec;15(4):151-157.	Review
3	Kanda H, Moriyama Y, Fukumoto Y, et al.	心臓血管外科	Takayasu's arteritis with total occlusion of the distal thoraco-abdominal aorta involving multiple visceral arteries.	Eur J Cardiothorac Surg. 2017 Jun 1;51(6):1208.	Case report
4	Toyokawa K, Moriyama Y, Ueno T, et al.	心臓血管外科	Double Aortic Arch Complicated by Acute Type A Dissection in an Aged Patient.	Ann Thorac Surg. 2017 Aug;104(2):e187. (オンライン)	Case report
5	Arigami T, Uenosono Y, Yanagita S, et al.	消化器外科	Clinical application and outcomes of sentinel node navigation surgery in patients with early gastric cancer.	Oncotarget. 2017 May 3;8(43):75607-75616.	Original Article
6	Fukuhisa H, Sakoda M, Hiwatashi K, et al.	消化器外科	Surgical treatment for the excluded bile leakage from Spiegel lobe after right hemihepatectomy: A case report.	Int J Surg Case Rep. 2017;39:159-163.	Case report
7	Hashimoto S, Taguchi H, Higashi M, et al.	消化器内科	Diagnostic efficacy of liquid-based cytology for solid pancreatic lesion samples obtained with endoscopic ultrasound-guided fine-needle aspiration: Propensity score-matched analysis.	Dig Endosc. 2017 Jul;29(5):608-616.	Original Article
8	Idichi T, Seki N, Kurahara H, et al.	消化器外科	Regulation of actin-binding protein ANLN by antitumor miR-217 inhibits cancer cell aggressiveness in pancreatic ductal adenocarcinoma.	Oncotarget. 2017 May 29;8(32):53180-53193.	Original Article
9	Kurahara H, Maemura K, Mataki Y, et al.	消化器外科	Indication of extrahepatic bile duct resection for gallbladder cancer.	Langenbecks Arch Surg. 2018 Feb;403(1):45-51.	Original Article
10	Maemura K, Mataki Y, Kurahara H, et al.	消化器外科	Comparison of proton beam radiotherapy and hyper-fractionated accelerated chemoradiotherapy for locally advanced pancreatic cancer.	Pancreatology. 2017 Sep - Oct;17(5):833-838.	Original Article

小計10件

11	Mawatari S, Oda K, Tabu K, et al.	消化器内科	New resistance-associated substitutions and failure of dual oral therapy with daclatasvir and asunaprevir.	J Gastroenterol. 2017 Jul;52(7):855-867.	Original Article
12	Osako Y, Seki N, Koshizuka K, et al.	消化器外科	Regulation of SPOCK1 by dual strands of pre-miR-150 inhibit cancer cell migration and invasion in esophageal squamous cell carcinoma.	J Hum Genet. 2017 Nov;62(11):935-944.	Original Article
13	Nozuma S, Matsuura E, Kodama D, et al.	神経内科	Effects of host restriction factors and the HTLV-1 subtype on susceptibility to HTLV-1-associated myelopathy/tropical spastic paraparesis.	Retrovirology. 2017 Apr 19;14(1):26.	Original Article
14	Tanabe H, Higuchi Y, Yuan JH, et al.	神経内科	Clinical and genetic features of Charcot-Marie-Tooth disease 2F and hereditary motor neuropathy 2B in Japan.	J Peripher Nerv Syst. 2018 Mar;23(1):40-48.	Original Article
15	Fujio S, Hirano H, Yamashita M, et al.	脳神経外科	Preoperative and Postoperative Pituitary Function in Patients with Tuberculum Sellae Meningioma - Based on Pituitary Provocation Tests.	Neurol Med Chir (Tokyo). 2017 Oct 15;57(10):548-556.	Original Article
16	Higa N, Yokoo H, Hirano H, et al.	脳神経外科	Calcifying pseudoneoplasm of the neuraxis in direct continuity with a low-grade glioma: A case report and review of the literature.	Neuropathology. 2017 Oct;37(5):446-451.	Case report
17	Hosoyama H, Matsuda K, Mihara T, et al.	脳神経外科	Long-term outcomes of epilepsy surgery in 85 pediatric patients followed up for over 10 years: a retrospective survey.	J Neurosurg Pediatr. 2017 May;19(5):606-615.	Original Article
18	Hosoyama H, Hanaya R, Otsubo T, et al.	脳神経外科	Application of Rubber Band with Hooks on Both Ends for Vagus Nerve Stimulator Implantation.	World Neurosurg. 2018 Mar;111:258-260.	Original Article
19	Yamahata H, Hirano H, Yamaguchi S, et al.	脳神経外科	What Is the Most Representative Parameter for Describing the Size of the Atlas? CT Morphometric Analysis of the Atlas with Special Reference to Atlas Hypoplasia.	Neurol Med Chir (Tokyo). 2017 Sep 15;57(9):461-466.	Original Article
20	Samukawa T, Matsumoto K, Tsukuya G, et al.	呼吸器内科	Development of a self-scored persistent airflow obstruction screening questionnaire in a general Japanese population: the Hisayama study.	Int J Chron Obstruct Pulmon Dis. 2017 May 15;12:1469-1481.	Original Article

小計10件

21	Takagi K, Yamakuchi M, Matsuyama T, et al.	呼吸器内科	IL-13 enhances mesenchymal transition of pulmonary artery endothelial cells via down-regulation of miR-424/503 in vitro.	Cell Signal. 2018 Jan;42:270-280.	Original Article
22	Uchida A, Samukawa T, Kumamoto T, et al.	呼吸器内科	Napsin A levels in epithelial lining fluid as a diagnostic biomarker of primary lung adenocarcinoma.	BMC Pulm Med. 2017 Dec 12;17(1):195.	Original Article
23	Sakaguchi T, Yoshino H, Yonemori M, et al.	泌尿器科	Regulation of ITGA3 by the dual-stranded microRNA-199 family as a potential prognostic marker in bladder cancer.	Br J Cancer. 2017 Apr 11;116(8):1077-1087.	Original Article
24	Yoshino H, Miyamoto K, Hwang EC, et al.	泌尿器科	Is It Safe to Use the Same Scissors After Accidental Tumor Incision During Partial Nephrectomy? Results of In Vitro and In Vivo Experiments.	J Endourol. 2017 Apr;31(4):391-395.	Original Article
25	Yoshino H, Nohata N, Miyamoto K, et al.	泌尿器科	PHGDH as a Key Enzyme for Serine Biosynthesis in HIF2 α -Targeting Therapy for Renal Cell Carcinoma.	Cancer Res. 2017 Nov 15;77(22):6321-6329.	Original Article
26	Yoshino H, Yonezawa T, Yonemori M, et al.	泌尿器科	Downregulation of microRNA-1274a induces cell apoptosis through regulation of BMPR1B in clear cell renal cell carcinoma.	Oncol Rep. 2018 Jan;39(1):173-181.	Original Article
27	Ishitsuka K, Yurimoto S, Kawamura K, et al.	血液・膠原病内科	Safety and efficacy of mogamulizumab in patients with adult T-cell leukemia-lymphoma in Japan: interim results of postmarketing all-case surveillance.	Int J Hematol. 2017 Oct;106(4):522-532.	Original Article
28	Hashiguchi H, Sheng Z, Routh V, et al.	糖尿病・内分泌内科	Direct versus indirect actions of ghrelin on hypothalamic NPY neurons.	PLoS One. 2017 Sep 6;12(9):e0184261. (オンライン)	Original Article
29	Shinnakasu A, Yamamoto K, Kurano M, et al.	糖尿病・内分泌内科	The Combination Therapy of Fenofibrate and Ezetimibe Improved Lipid Profile and Vascular Function Compared with Statins in Patients with Type 2 Diabetes.	J Atheroscler Thromb. 2017 Jul 1;24(7):735-748.	Original Article
30	Shinden Y, Sugimachi K, Tanaka F, et al.	乳腺・甲状腺外科	Clinicopathological characteristics of disseminated carcinomatosis of the bone marrow in breast cancer patients.	Mol Clin Oncol. 2018 Jan;8(1):93-98.	Original Article

小計10件

31	Shinden Y, Kijima Y, Hirata M, et al.	乳腺・甲状腺外科	Clinical characteristics of breast cancer patients with mental disorders.	Breast. 2017 Dec;36:39-43.	Original Article
32	Shinden Y, Nakajo A, Arima H, et al.	乳腺・甲状腺外科	Intraoperative Identification of the Parathyroid Gland with a Fluorescence Detection System.	World J Surg. 2017 Jun;41(6):1506-1512.	Original Article
33	Kodama Y, Manabe A, Kawasaki H, et al.	小児科	Salvage therapy for children with relapsed or refractory Philadelphia chromosome-positive acute lymphoblastic leukemia.	Pediatr Blood Cancer. 2017 Aug;64(8). (オンライン)	Original Article
34	Kodama Y, Okamoto Y, Kubota T, et al.	小児科	Effectiveness of vitamin K2 on osteoporosis in adults with cerebral palsy.	Brain Dev. 2017 Nov;39(10):846-850.	Original Article
35	Okamoto Y, Kodama Y, Nishikawa T, et al.	小児科	Persistent positive metaiodobenzylguanidine scans after autologous peripheral blood stem cell transplantation may indicate maturation of stage 4 neuroblastoma.	Pediatr Hematol Oncol. 2017 Apr;34(3):157-164.	Original Article
36	Kawano T, Hosomichi K, Inoue I, et al.	小児外科	Identification of a novel variant of the RET proto-oncogene in a novel family with Hirschsprung's disease.	Pediatr Surg Int. 2017 Oct;33(10):1041-1046.	Original Article
37	Kawano T, Idesako T, Eura R, et al.	小児外科	Cystoscope-Assisted Laparoscopic Resection of Mullerian Duct Remnant in a Male Presenting with Uterus and Vagina.	Videoscopy 1 Feb 2018, Vol. 28, No. 1 (オンライン)	Case report
38	Yamada K, Kaji T, Kawano T, et al.	小児外科	Effective Treatment of Laparoscopic Lateral Segmentectomy for Intrahepatic Portosystemic Shunt Transection in an Infantile Case.	Videoscopy 1 Feb 2018, Vol. 28, No. 1 (オンライン)	Case report
39	Sasaki H, Nagano S, Shimada H, et al.	整形外科・リウマチ外科	Clinical course of the bony lesion of single-system single-site Langerhans cell histiocytosis - Is appropriate follow-up sufficient treatment?	J Orthop Sci. 2018 Jan;23(1):168-173.	Original Article
40	Sasaki H, Nagano S, Shimada H, et al.	整形外科・リウマチ外科	Diagnosing and discriminating between primary and secondary aneurysmal bone cysts.	Oncol Lett. 2017 Apr;13(4):2290-2296.	Original Article

小計10件

41	Tominaga H, Setoguchi T, Shimada H, et al.	整形外科・リウマチ外科	Prognostic factors in patients with skeletal-related events at non-small-cell lung cancer diagnosis.	Mol Clin Oncol. 2017 Nov;7(5):897-902.	Original Article
42	Higashi Y, Yoshioka T, Kawai K, et al.	皮膚科	Lymphomatoid granulomatosis initially presenting as ulcerated subcutaneous and muscle lesions without pulmonary involvement.	J Dermatol. 2017 May;44(5):e107-e108. (オンライン)	Letter
43	Higashi Y, Yamakuchi M, Fukushige T, et al.	皮膚科	High-fat diet exacerbates imiquimod-induced psoriasis-like dermatitis in mice.	Exp Dermatol. 2018 Feb;27(2):178-184.	Original Article
44	Jimura N, Fujii K, Baba A, et al.	皮膚科	Spontaneous regression of a primary cutaneous diffuse large B-cell lymphoma, leg type.	J Dermatol. 2017 May;44(5):608-609.	Letter
45	Kanekura T, Seishima M, Honma M, et al.	皮膚科	Therapeutic depletion of myeloid lineage leukocytes by adsorptive apheresis for psoriatic arthritis: Efficacy of a non-drug intervention for patients refractory to pharmacologics.	J Dermatol. 2017 Dec;44(12):1353-1359.	Original Article
46	Kawahira H, Higashi Y, Matsuoka A, et al.	皮膚科	Pyodermatitis vegetans with antibodies to bullous pemphigoid antigen 180.	J Dermatol. 2017 Dec;44(12):1417-1418.	Letter
47	Okubo A, Fujii K, Kondo T, et al.	皮膚科	Kimura's disease in the oral cavity: A rare manifestation of immunoglobulin G4-related disease.	J Dermatol. 2017 Dec;44(12):e357-e358. (オンライン)	Letter
48	Sakanoue M, Higashi Y, Kanekura T.	皮膚科	Inhibition of Inflammatory Cytokines and Induction of Myeloid-Derived Suppressor Cells by the Effects of Granulocyte and Monocyte Adsorption Apheresis.	Ther Apher Dial. 2017 Dec;21(6):628-634.	Original Article
49	Yoshifuku A, Yoneda K, Sakiyama Y, et al.	皮膚科	Case of autoimmune autonomic ganglionopathy manifesting anhidrosis.	J Dermatol. 2017 Oct;44(10):1160-1163.	Case report
50	Kawano H, Sonoda S, Saito S, et al.	眼科	CHOROIDAL STRUCTURE ALTERED BY DEGENERATION OF RETINA IN EYES WITH RETINITIS PIGMENTOSA.	Retina. 2017 Nov;37(11):2175-2182.	Original Article

小計10件

51	Nakao K, Abematsu N, Sakamoto T.	眼科	Systemic diseases in patients with HTLV-1-associated uveitis.	Br J Ophthalmol. 2018 Mar;102(3):373-376.	Original Article
52	Shiihara H, Sakamoto T, Yamashita T, et al.	眼科	Reproducibility and differences in area of foveal avascular zone measured by three different optical coherence tomographic angiography instruments.	Sci Rep. 2017 Aug 29;7(1):9853.	Original Article
53	Shiihara H, Sakamoto T, Terasaki H, et al.	眼科	Effect of fluid-air exchange on reducing residual silicone oil after silicone oil removal.	Graefes Arch Clin Exp Ophthalmol. 2017 Sep;255(9):1697- 1704.	Original Article
54	Sonoda S, Sakamoto T, Kakiuchi N, et al.	眼科	Semi-automated software to measure luminal and stromal areas of choroid in optical coherence tomographic images.	Jpn J Ophthalmol. 2018 Mar;62(2):179- 185.	Original Article
55	Terasaki H, Yamashita T, Yoshihara N, et al.	眼科	Association of lifestyle and body structure to ocular axial length in Japanese elementary school children.	BMC Ophthalmol. 2017 Jul 12;17(1):123.	Original Article
56	Terasaki H, Ogura Y, Kitano S, et al.	眼科	Management of diabetic macular edema in Japan: a review and expert opinion.	Jpn J Ophthalmol. 2018 Jan;62(1):1-23.	Review
57	Yamashita T, Asaoka R, Kii Y, et al.	眼科	Structural parameters associated with location of peaks of peripapillary retinal nerve fiber layer thickness in young healthy eyes.	PLoS One. 2017 May 25;12(5):e0177247. (オンライン)	Original Article
58	Yamashita T, Sakamoto T, Yoshihara N, et al.	眼科	Correlations between local peripapillary choroidal thickness and axial length, optic disc tilt, and papillo-macular position in young healthy eyes.	PLoS One. 2017 Oct 12;12(10):e0186453. (オンライン)	Original Article
59	Nagano H, Jimura T, Nagano M, et al.	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	Transcutaneous immunization in auricle skin induces antigen-specific mucosal and systemic immune responses in BALB/c mice.	Auris Nasus Larynx. 2017 Aug;44(4):411- 416.	Original Article
60	Nagano H, Kuroho Y, Matushita K.	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	Adult T-cell leukemia/lymphoma in patients with head and neck cancer after S-1 chemotherapy.	Auris Nasus Larynx. 2017 Apr;44(2):195- 198.	Original Article

小計10件

61	Nagano H, Kawabata M, Sugita G, et al.	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	Transcutaneous immunization with pneumococcal surface protein A in mice.	Laryngoscope. 2018 Mar;128(3):E91-E96. (オンライン)	Original Article
62	Fukukura Y, Kumagae Y, Hakamada H, et al.	放射線科	Computed diffusion-weighted MR imaging for visualization of pancreatic adenocarcinoma: Comparison with acquired diffusion-weighted imaging.	Eur J Radiol. 2017 Oct;95:39-45.	Original Article
63	Nagano H, Jinguji M, Nakajo M, et al.	放射線科	Bilateral Tibial Osteofibrous Dysplasia on 18F-FDG PET/CT.	Clin Nucl Med. 2017 Aug;42(8):e375-e376. (オンライン)	Original Article
64	Nagano H, Nakajo M, Fukukura Y, et al.	放射線科	A small pancreatic hamartoma with an obstruction of the main pancreatic duct and avid FDG uptake mimicking a malignant pancreatic tumor: a systematic case review.	BMC Gastroenterol. 2017 Dec 6;17(1):146. (オンライン)	Case report
65	Nakajo M, Jinguji M, Nakajo M, et al.	放射線科	Texture analysis of FDG PET/CT for differentiating between FDG-avid benign and metastatic adrenal tumors: efficacy of combining SUV and texture parameters.	Abdom Radiol (NY). 2017 Dec;42(12):2882-2889.	Original Article
66	Nakajo M, Kajiya Y, Tani A, et al.	放射線科	A pilot study for texture analysis of 18F-FDG and 18F-FLT-PET/CT to predict tumor recurrence of patients with colorectal cancer who received surgery.	Eur J Nucl Med Mol Imaging. 2017 Dec;44(13):2158-2168.	Original Article
67	Nakajo M, Jinguji M, Shinaji T, et al.	放射線科	Texture analysis of 18F-FDG PET/CT for grading thymic epithelial tumours: usefulness of combining SUV and texture parameters.	Br J Radiol. 2018 Feb;91(1083):20170546. (オンライン)	Original Article
68	Takumi K, Fukukura Y, Hakamada H, et al.	放射線科	Value of diffusion tensor imaging in differentiating malignant from benign parotid gland tumors.	Eur J Radiol. 2017 Oct;95:249-256.	Original Article
69	Godai K	麻酔科	Schwartz-Jampel syndrome is not related to malignant hyperthermia.	JA Clin Rep. 2017;3(1):32.	Original Article
70	Godai K	麻酔科	Anaesthesia recommendations for patients suffering from Miller-Dieker syndrome.	Anasth Intensivmed.2017.Oct;S591-596	Original Article

小計10件

71	Hasegawa-Moriyama M, Mukaihara K, Yamada T, et al.	麻酔科	Transient Receptor Potential Ankyrin 1 Ion Channel Facilitates Acute Inflammation Induced by Surgical Incision in Mice.	Open Journal of Anesthesiology, 2017, 7, 134-145	Original Article
72	Moriyama T, Hagihara S, Shiramomo T, et al.	麻酔科	The protective effect of human atrial natriuretic peptide on renal damage during cardiac surgery.	J Anesth. 2017 Apr;31(2):163-169.	Case report
73	Tohya A, Kohjitani A, Ohno S, et al.	歯科麻酔科	Effects of glucose-insulin infusion during major oral and maxillofacial surgery on postoperative complications and outcomes.	JA Clin Rep. 2018;4(1):9.	Original Article
74	Miura S, Ueno M, Miyata R, et al.	リハビリテーション科	Mirror therapy for involuntary movement due to chronic thalamic hemorrhage: a case report.	Eur J Phys Rehabil Med. 2017 Dec;53(6):968-971.	Case report
75	Nagata E, Oho T.	口腔保健科	Invasive Streptococcus mutans induces inflammatory cytokine production in human aortic endothelial cells via regulation of intracellular toll-like receptor 2 and nucleotide-binding oligomerization domain 2.	Mol Oral Microbiol. 2017 Apr;32(2):131-141.	Original Article
76	Nishiyama T, Nagata E, Oho T.	口腔保健科	Factors associated with choking during meals; a risk indicator for repetitive fever in the elderly community.	Makara J. Health Res., 2017 April; 21: 30-34.	Original Article
77	Furukawa M, Tsukahara T, Tomita K, et al.	矯正歯科	Neonatal maternal separation delays the GABA excitatory to-inhibitory functional switch by inhibiting KCC2 expression.	Biochem Biophys Res Commun. 2017 Nov 25;493(3):1243-1249.	Original Article
78	Maeda-Iino A, Furukawa M, Kwon S, et al.	矯正歯科	Evaluation of maxillary central incisors on the noncleft and cleft sides in patients with unilateral cleft lip and palate-Part 2: Relationship between root resorption, horizontal tooth movement, and quantity of grafted autogenous bone.	Angle Orthod. 2017 Nov;87(6):863-870.	Original Article
79	Maeda-Iino A, Marutani K, Furukawa M, et al.	矯正歯科	Evaluation of maxillary central incisors on the noncleft and cleft sides in patients with unilateral cleft lip and palate-Part 1: Relationship between root length and orthodontic tooth movement.	Angle Orthod. 2017 Nov;87(6):855-862.	Original Article
80	Tomonari H, Kwon S, Kuninori T, et al.	矯正歯科	Differences between the chewing and non-chewing sides of the mandibular first molars and condyles in the closing phase during chewing in normal subjects.	Arch Oral Biol. 2017 Sep;81:198-205.	Original Article

小計10件

81	Tomonari H, Takada H, Hamada T, et al.	矯正歯科	Micrognathia with temporomandibular joint ankylosis and obstructive sleep apnea treated with mandibular distraction osteogenesis using skeletal anchorage: a case report.	Head Face Med. 2017 Nov 10;13(1):20.	Case report
82	Yagi T, Yamashiro T, Miyawaki S.	矯正歯科	Treatment of severe maxillary hypoplasia with oligodontia and complete bilateral cleft lip and palate by maxillary anterior segmental distraction osteogenesis.	Orthodontic waves. 2018 Mar;77(1):57-65.	Case report
83	Iwasaki T, Sato H, Suga H, et al.	小児歯科	Relationships among nasal resistance, adenoids, tonsils, and tongue posture and maxillofacial form in Class II and Class III children.	Am J Orthod Dentofacial Orthop. 2017 May;151(5):929-940.	Original Article
84	Iwasaki T, Sato H, Suga H, et al.	小児歯科	Influence of pharyngeal airway respiration pressure on Class II mandibular retrusion in children: A computational fluid dynamics study of inspiration and expiration.	Orthod Craniofac Res. 2017 May;20(2):95-101.	Original Article
85	Iwasaki T, Sato H, Suga H, et al.	小児歯科	Herbst appliance effects on pharyngeal airway ventilation evaluated using computational fluid dynamics.	Angle Orthod. 2017 May;87(3):397-403.	Original Article
86	Hasegawa-Nakamura K, Nakamura T, Kamitomo M, et al.	歯周病科	Detection of Periodontal Pathogens in Chorionic Tissues of Pregnant Women diagnosed with Threatened Premature Labor with Abnormal Glucose Tolerance.	Journal of the Japanese Society of Periodontology. 2017 Sep; 59(3): 133-143.	Original Article
87	Nakamura T, Shirakata Y, Shinohara Y, et al.	歯周病科	Comparison of the effects of recombinant human bone morphogenetic protein-2 and -9 on bone formation in rat calvarial critical-size defects.	Clin Oral Investig. 2017 Dec;21(9):2671-2679.	Original Article
88	Shirakata Y, Miron RJ, Shinohara Y, et al.	歯周病科	Healing of two-wall intra-bony defects treated with a novel EMD-liquid-A pre-clinical study in monkeys.	J Clin Periodontol. 2017 Dec;44(12):1264-1273.	Original Article
89	Takeuchi H, Machigashira M, Takeuchi N, et al.	歯周病科	The Association of Periodontopathic Bacteria Levels in Saliva and Tongue Coating with Oral Malodor in Periodontitis Patients.	Oral Health Prev Dent. 2017;15(3):285-291.	Original Article
90	Fuchigami T, Kimura N, Kibe T, et al.	口腔顎顔面外科	Effects of pre-surgical nasoalveolar moulding on maxillary arch and nasal form in unilateral cleft lip and palate before lip surgery.	Orthod Craniofac Res. 2017 Nov;20(4):209-215.	Original Article

小計10件

91	Fuchigami T, Koyama H, Kishida M, et al.	口腔顎顔面外科	Fibroblasts promote the collective invasion of ameloblastoma tumor cells in a 3D coculture model.	FEBS Open Bio. 2017 Nov 2;7(12):2000-2007.	Original Article
92	Kibe T, Koga T, Nishihara K, et al.	口腔顎顔面外科	Examination of the early wound healing process under different wound dressing conditions.	Oral Surg Oral Med Oral Pathol Oral Radiol. 2017 Mar;123(3):310-319	Original Article
93	Ishida T, Hijioka H, Kume K, et al.	口腔顎顔面外科	A diagnostic system for detecting lymphnode metastasis in oral squamous cell carcinoma:Collective consideration of the results by multiple imaging modalities.	J Oral and Maxillofacial Surgery, Medicine, and Pathology 29: 2017May, 210-216	Original Article
94	Murakami J, Ishii M, Suehiro F, et al.	口腔顎顔面外科	Vascular endothelial growth factor-C induces osteogenic differentiation of human mesenchymal stem cells through the ERK and RUNX2 pathway.	Biochem Biophys Res Commun. 2017 Mar 11;484(3):710-718.	Original Article
95	Okawachi T, Nozoe E, Ishihata K, et al.	口腔顎顔面外科	Comparison of postoperative stability and complications following orthognathic surgery between patients with skeletal class III deformity with/without cleft lip and palate.	Journal of Oral Health and Dental Management 2017, Feb 16(2): 1-9.	Original Article
96	Yoshimura T, Ishida T, Tanaka K, et al.	口腔顎顔面外科	Cystadenocarcinoma of minor salivary gland arising in the upper lip: A surgical case of and inadequate cytology specimen rendering conclusive diagnosis difficult.	Human Pathology - Research and Practice 2017, September, 9:64-68	Case report
97	Hiraki T, Hatanaka K, Sueyoshi K, et al.	病理部	Unusual morphology of a pulmonary blastoma having an epithelial component with focally significant nuclear pleomorphism.	Pathol Int. 2017 Jul;67(7):370-372.	Case report
98	Hiraki T, Yamada S, Higashi M, et al.	病理部	Immunohistochemical expression of mucin antigens in gallbladder adenocarcinoma: MUC1-positive and MUC2-negative expression is associated with vessel invasion and shortened survival.	Histol Histopathol. 2017 Jun;32(6):585-596.	Original Article
99	Honjo K, Hiraki T, Higashi M, et al.	病理部	Immunohistochemical expression profiles of mucin antigens in salivary gland mucoepidermoid carcinoma: MUC4- and MUC6-negative expression predicts a shortened survival in the early postoperative phase.	Histol Histopathol. 2018 Feb;33(2):201-213.	Original Article
100	Onishi S, Nakame K, Kaji T, et al.	病理部	The bowel function and quality of life of Hirschsprung disease patients who have reached 18 years of age or older - the long-term outcomes after undergoing the transabdominal soave procedure.	J Pediatr Surg. 2017 Dec;52(12):2001-2005.	Original Article

小計10件

101	Yamada S, Kawaguchi H, Yamada T, et al.	病理部	Cholic Acid Enhances Visceral Adiposity, Atherosclerosis and Nonalcoholic Fatty Liver Disease in Microminipigs.	J Atheroscler Thromb. 2017 Nov 1;24(11):1150-1166.	Original Article
102	Yamada S, Noguchi H, Tanimoto A.	病理部	Critical and diverse in vivo roles of apoptosis signal-regulating kinase 1 in animal models of atherosclerosis and cholestatic liver injury.	Histol Histopathol. 2017 May;32(5):433-444.	Original Article
103	Sasaki K, Kurahara H, Young ED, et al.	手術部	Genome-wide in vivo RNAi screen identifies ITIH5 as a metastasis suppressor in pancreatic cancer.	Clin Exp Metastasis. 2017 Apr;34(3-4):229-239.	Original Article
104	Jinguji M, Nakajo M, Nakajo M, et al.	放射線部	Thymic Involution After Radioiodine Therapy for Graves Disease: Relationships With Serum Thyroid Hormones and TRAb.	J Endocr Soc. 2017 Jun 5;1(7):852-860.	Original Article
105	Furubeppu H, Yasuda T, Futatsuki T, et al.	救命救急センター	Fatal chlorfenapyr poisoning: A case report.	The Japanese Journal of Clinical Toxicology. 2017;30:379-82.	Case report
106	Machigashira S, Kaji T, Onishi S, et al.	救命救急センター	The protective effect of fish oil lipid emulsions on intestinal failure-associated liver disease in a rat model of short-bowel syndrome.	Pediatr Surg Int. 2018 Feb;34(2):203-209.	Original Article
107	Mori S, Kita Y, Baba K, et al.	光学医療診療部	Laparoscopic complete mesocolic excision via mesofascial separation for left-sided colon cancer.	Surg Today. 2018 Mar;48(3):274-281.	Original Article
108	Mori S, Kita Y, Baba K, et al.	光学医療診療部	Laparoscopic complete mesocolic excision via combined medial and cranial approaches for transverse colon cancer.	Surg Today. 2017 May;47(5):643-649.	Original Article
109	Tamai T, Oshige A, Tabu K, et al.	肝疾患相談センター	Utility of percutaneous radiofrequency ablation alone or combined with transarterial chemoembolization for early hepatocellular carcinoma.	Oncol Lett. 2017 Sep;14(3):3199-3206.	Original Article
110	Tamai T, Kumagai K, Sakae H, et al.	肝疾患相談センター	Early sorafenib induction after transarterial chemoembolization for unresectable hepatocellular carcinoma: Can sorafenib after TACE improve loco-regional control?	Mol Clin Oncol. 2017 Dec;7(6):1135-1141.	Original Article

小計10件

111	Kaji T, Nakame K, Machigashira S, et al.	総合臨床研修センター	Predictors of a successful outcome for infants with short bowel syndrome: a 30-year single-institution experience.	Surg Today. 2017 Nov;47(11):1391-1396.	Original Article
112	Kaji T.	総合臨床研修センター	Reply to Letter to the Editor by Crocoli A, et al.	J Pediatr Surg. 2017 Sep;52(9):1537.	Letter
113	Maenosono R, Mizukami N, Oketani N, et al.	臨床技術部	Relationship between Total Atrial Conduction Time and Recurrence of Atrial Fibrillation after Complex Fractionated Atrial Electrogram Ablation of Paroxysmal Atrial Fibrillation.	Japanese Journal of Medical Ultrasound Technology. 2017 8. 42(4): 399-409	Original Article
114	Miyara K, Matsumoto S, Uema T, et al.	臨床技術部	Effect of whole body vibration on spasticity in hemiplegic legs of patients with stroke.	Top Stroke Rehabil. 2018 Mar;25(2):90-95.	Original Article
115	Mori K, Horinouchi M, Domitsu A, et al.	臨床技術部	Proper oral hygiene protocols decreased inflammation of gingivitis in a patient during chemotherapy with bevacizumab: a case report.	Clin Case Rep. 2017 Jul 8;5(8):1352-1357.	Case report
116	Sasaki M, Fukukura Y, Kumagae Y, et al.	臨床技術部	Free-Breathing Hepatobiliary Phase Gd-EOB-DTPA-Enhanced MR Imaging with Radial VIBE Sequence: Comparison with onventional Cartesian VIBE Sequence.	OMICS J Radiol 2017 Oct, Vol 6(5): 276	Original Article
117	Toyota M, Saigo Y, Higuchi K, et al.	臨床技術部	COMPARISON OF THE PERIPHERAL DOSES FROM DIFFERENT IMRT TECHNIQUES FOR PEDIATRIC HEAD AND NECK RADIATION THERAPY.	Radiat Prot Dosimetry. 2017 Nov 1;176(3):322-330.	Original Article

小計7件

計117件

(注) 1 当該特定機能病院に所属する医師等が前年度に発表した英語論文のうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを七十件以上記入すること。七十件以上発表を行っている場合には、七十件のみを記載するのではなく、合理的な範囲で可能な限り記載すること。

2 報告の対象とするのは、筆頭著者の所属先が当該特定機能病院である論文であり、査読のある学術雑誌に掲載されたものに限るものであること。ただし、実態上、当該特定機能病院を附属している大学の講座等と当該特定機能病院の診療科が同一の組織として活動を行っている場合においては、筆頭著者の所属先が大学の当該講座等であっても、論文の数の算定対象に含めるものであること(筆頭著者が当該特定機能病院に所属している場合に限る。)

3 「発表者氏名」に関しては、英文で、筆頭著者を先頭に論文に記載された順に3名までを記載し、それ以上は、他、またはet al.とする。

4 「筆頭著者の所属」については、和文で、筆頭著者の特定機能病院における所属を記載すること。

5 「雑誌名・出版年月等」欄には、「雑誌名、出版年月(原則雑誌掲載月とし、Epub ahead of printやin pressの掲載月は認めない); 巻数: 該当ページ」の形式で記載すること(出版がオンラインのみの場合は雑誌名、出版年月(オンライン掲載月)の後に(オンライン)と明記すること)。

記載例: Lancet. 2015 Dec; 386: 2367-9 / Lancet. 2015 Dec (オンライン)

6 「論文種別」欄には、Original Article、Case report、Review、Letter、Othersから一つ選択すること。

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
1	永富脩二、石崎直樹、緒方裕樹、他	心臓血管外科	胆嚢癌と鑑別が困難であった胆嚢潰瘍の1例	臨床外科・72(12): 1383-1386, 2017	Case report
2	上田英昭、金城玉洋、久容輔	心臓血管外科	自己心膜を用いて僧帽弁前尖を再建した急性期感染性心内膜炎の1例	胸部外科・70(7): 507-509, 2017	Case report
3	上田英昭、森山由紀則、井本浩、他	心臓血管外科	鎖骨下動脈起始異常を伴うkommerell憩室の4手術例	日本心臓血管外科学会雑誌・46(4): 173-176, 2017	Case report
4	樺山雅之、佐々木文郷、前田英仁、他	消化器内科	審査腹腔鏡が診断に有用であった胃癌術後再発による二次性アカラシアの1例.	日本消化器病学会雑誌. 2018 Jan; 115: 394-400	Case report
5	有上貴明、上之園芳一、柳田茂寛、他	消化器外科	胃癌とリンパ節転移—リンパ行性微小転移の臨床的意義を中心に—	リンパ学; 40: 113- 116, 2017.12	Others
6	田辺寛、盛真一郎、馬場研二、他	消化器外科	鮎田式胃壁固定具を用いた腹腔鏡下腹壁癒痕ヘルニア手術の工夫	日内視鏡外会誌 22(6): 833-838, 2017	Original Article
7	濱田由紀、又木雄弘、迫田雅彦、他	消化器外科	拡大肝左葉切除を行った破裂性肝原発粘液性嚢胞腫瘍の1例.	日臨外会誌78(5): 1068-1072, 2017	Case report
8	福久はるひ、馬場研二、喜多芳昭、他	消化器外科	下部直腸癌の化学療法中に直腸穿孔で発症したフルニエ症候群の1例	癌と化学療法 44巻 10号 Page935- 937(2017.10)	Case report
9	伊地知徹也、蔵原弘、前村公成、他	消化器外科	集学的治療で完全奏効が得られた肝転移を伴うcStage IV膵体部癌の1例.	日本消化器外科学会雑誌 50巻11号 p897-904, 2017.	Case report
10	藤尾信吾、永野祐志、有田和徳	脳神経外科	非機能性下垂体腺腫、視床下部と下垂体—神経内分泌の最新情報	Clinical Neuroscience 2017 35:455-458	Review

小計10件

11	上村豪、青木雅也、徳永拓也、他	呼吸器外科	12.5年間のステント留置により気管の剛性が回復しステント抜去できた1例.	気管支学. 2017.11; 39(6): 513-517	Case report
12	上村豪、脇田和博、酒瀬川浩一、他	呼吸器外科	ユニタルクにより胸壁外にFDG高集積異物肉芽腫を発症した1例	日本呼吸器外科学会. 2018.1; 32(1): 24-28	Case report
13	徳永拓也、横枕直哉、上村豪、他	呼吸器外科	肺過誤腫に対し核手術を施行した1例—Chemical shift MRIの有用性について—	日本呼吸器外科学会. 2017.5; 31(4): 76-80	Case report
14	石塚 賢治	血液・膠原病内科	【HTLV-1関連疾患の診断と治療の進歩】成人T細胞白血病の診断と治療	日本内科学会雑誌 106巻7号 1397-1403, 2017.07	Review
15	石塚 賢治	血液・膠原病内科	【Molecular heterogeneity and target therapies of malignant lymphoma in new WHO classification era】ATL診療の進歩	臨床血液、58巻6号、676-682、2017.06	Review
16	石塚 賢治	血液・膠原病内科	ATL 分子病態と治療	臨床血液、58巻10号、2004-2011、2017.10	Review
17	矢野圭輔、川野孝文、山田耕嗣、他	小児外科	胆道拡張症術後の膵石合併慢性膵炎に対してDouble Roux-en-Yを用いたFrey手術が奏効した1例	日本小児外科学会雑誌53巻4号 Page925-929(2017.06)	Case report
18	神尾真樹、福田美香、新谷光央、他	産科、婦人科	妊娠中の子宮頸がんに対する児救命目的広汎子宮頸部摘出術(IURT)の試み	九州連合産科婦人科学会・2017 Dec;68:47-50	Original Article
19	神尾真樹、小林裕明	産科、婦人科	妊孕性温存頸癌手術としての広汎子宮頸部摘出術	臨床医のための最新産科婦人科 2017 Aug;48:157-162	Letter
20	神尾真樹、鮫島浩継、福岡美咲、他	産科、婦人科	リンパ節転移陽性の外陰部基底細胞癌の一例	鹿児島産科婦人科学会雑誌・2018 Mar;26:53-57	Case report

小計10件

21	小林 裕明	産科、婦人科	婦人科領域 子宮頸がん症例に対する妊孕性温存療法は？微小浸潤症例への対応は？	産婦人科の実際・2017 Oct; 10;66(11):1481-1488	Letter
22	小林 裕明	産科、婦人科	保険収載を迎える婦人科ロボット手術の現状と我々の取り組み	鹿児島産科婦人科学会雑誌・2018 Mar; 26:1-9	Letter
23	梶博則、藤井康成、泉俊彦、他	整形外科・リウマチ外科	関節鏡下腱板修復後の部分修復例・再断裂例の臨床成績と画像評価	肩関節.2017.09;41:504-506	Original Article
24	西馬場理恵、東裕子、藤井一恭、他	皮膚科	Myeloid sarcomaの1例	Skin. Cancer. 2017 Jun; 32: 12-15	Case report
25	坂本 泰二	眼科	【NEWS & TOPICS 今月の一話】眼科とビッグデータ	日本の眼科 88巻6号 Page686-687(2017.6)	Review
26	坂本泰二、堀田喜裕	眼科	【NEWS & TOPICS 今月の一話】眼科専門研修プログラムについて	日本の眼科 88巻10号Page1276-1277(2017.10)	Review
27	園田 祥三	眼科	【特集OCTで血管を斬る！】中心性漿液性脈絡網膜症(CSC).	Retina Medicine 6巻2号 Page41-45(2017.10)	Review
28	山下 高明	眼科	【緑内障セミナー】204. 視神経乳頭の外縁	あたらしい眼科 34巻6号 Page835-836(2017.6)	Review
29	山下 高明	眼科	【緑内障セミナー】205. 緑内障診療における統計学的視点	あたらしい眼科 34巻7号 Page1005-1006(2017.7)	Review
30	山下 高明	眼科	近視に関する最近の話題 近視と緑内障.	あたらしい眼科 34巻10号 Page1399-1403(2017.10)	Review

小計10件

31	坂本 泰二	眼科	巻頭言 評議員会指名講演「眼科のトランスレーショナルリサーチ」	日本眼科学会雑誌 122巻3号 Page153-154(2018.3)	Review
32	寺崎寛人、坂本泰二	眼科	【特集/激増する糖尿病の診療最前線】合併症の診断と治療 網膜症.	臨床と研究 95巻1号 Page73-78(2018.1)	Review
33	川野浩輝、園田祥三	眼科	【特集 脈絡膜疾患:ここまで解明できる!】脈絡網膜の最新の画像検査	あたらしい眼科 34巻 12号 Page1641-1649(2017.12)	Review
34	井内寛之、永野広海、地村友宏、他	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	下咽頭癌の病期と患者の居住地域および受診背景に関する検討	口腔咽頭科学会 2017 Mar; 30:85-90	Original Article
35	馬越瑞夫、永野広海、牧瀬高穂、他	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	内経静脈並びに腕頭静脈に腫瘍塞栓を形成した腎細胞癌の甲状腺転移の1例	口腔咽頭科学会 2017 Mar; 30:79-84	Original Article
36	大堀純一郎、宮下圭一、牧瀬高穂、他	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	扁桃周囲膿瘍の臨床所見とガレノキサシンの組織移行性の比較	日本耳鼻咽喉科感染症・エアロゾル学会会誌. 2018 Jan;6:15-9	Original Article
37	大堀純一郎、宮下圭一、黒野祐一	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	頭部・顔面非メラノーマ皮膚悪性腫瘍における耳下腺リンパ節郭清の検討	耳鼻咽喉科臨床学会 2017 Jan;110:31-34	Original Article
38	黒野祐一、大堀純一郎	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	扁桃周囲膿瘍の病態と治療	アレルギー・免疫 2017 Jan ; 24 : 109-116	Review
39	地村友宏、川島雅樹、永野広海、他	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	軟口蓋麻痺で発症したacute oropharyngeal palsy例	口腔・咽頭科. 2017 Jun;30:171-4	Original Article
40	永野広海、宮下圭一、黒野祐一	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	中咽頭に発生したEBウイルス感染を伴うメトトレキサート関連琳派増殖性疾患例	口腔咽頭科学会 2017 Mar; 30:67-71	Original Article

小計10件

41	永野広海、地村友宏、原田みずえ、他	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	化学放射線治療後の咽頭閉塞に対して咽頭形成術とバルーン拡張術を施行した1例	口腔咽頭科学会 2017 Mar; 30:73-77	Original Article
42	林完勇、瀬之口輝寿、馬場康、他	放射線科	液状止血剤puramatrixの血管塞栓剤としての基礎的検討	IVR: Interventional Radiology. 2017;32(Suppl):195	Original Article
43	長谷川 麻衣子	麻酔科	炎症性疼痛ー炎症は抑えたほうがよいのかー	日本ペインクリニック学会誌(別冊).2017.301-307	Others
44	長谷川 麻衣子	麻酔科	術後痛管理の役割 NRSの先にありもの 術後痛と手術部位感染・創傷治癒(解説)	日本臨床麻酔学会誌.2017.637-642	Review
45	長谷川 麻衣子	麻酔科	生体侵襲と炎症性疼痛のメカニズムー周術期鎮痛のアウトカムに関する最近の知見	麻酔. 2017.Nov.S47-51	Review
46	原田浩輝、二本貴弘、宮本昇太郎、他	麻酔科	深在性真菌症を併発した重症熱性血小板減少症候群の1症例	日本集中治療医学会雑誌. 2017.24.567-568	Case report
47	山下薫、梶谷淳、岐部俊郎、他	歯科麻酔科	精神遅滞と肺高血圧症を有する18p-症候群患者の智歯抜歯術における全身麻酔経験.	日本障害者歯科学会誌 2018; 39(1):28-32	Case report
48	下堂 蘭恵、野間知一、宮田隆司	リハビリテーション科	【電気刺激療法-最新の知見と展望-】電気刺激と促通反復療法の併用効果	The Japanese Journal of Rehabilitation Medicine (1881-3526)54巻8号 Page583-58	Others
49	大賀泰彦、友成博、古川みなみ、他	矯正歯科	歯科矯正用アンカースクリューとリングブラケットを用いて下顎臼歯の遠心移動を行ったアングルⅡ級2類症例.	九州矯正歯科学会誌. 2018 Mar;13(1):33-38.	Case report
50	福嶋美佳、友成博、権 相豪、他	矯正歯科	カスタムメイドのリングブラケットを用いて治療期間の短縮を試みたアングルⅠ級抜歯症例.	九州矯正歯科学会誌. 2018 Mar;13(1):39-44.	Case report

小計10件

51	山本祐士、佐藤秀夫、橋口真紀子、他	小児歯科	大学病院小児歯科における摂食嚥下障害患児の初診時実態調査	小児歯科学雑誌.2018 56(1):12-18	Original Article
52	上之段麻美、柳田廣明、松村光祐、他	冠・ブリッジ科	コバルトクロム合金と常温重合レジンの接着における表面処理の検討	接着歯学. 2017 Dec;35:89-93	Original Article
53	村原貞昭、上之段麻美、迫口賢二、他	冠・ブリッジ科	CAD/CAMハイブリッドレジンの繰返し衝撃荷重に対する破折抵抗性	接着歯学. 2017 April;35:1-5	Original Article
54	益崎 与泰	義歯補綴科	残存歯挺出による咬合平面不正を修正し機能改善を行った症例	日補綴会誌 2017, 9 (1): 74-77	Case report
55	益崎 与泰	義歯補綴科	上顎右側第二小臼歯先天性欠如部に対してインプラント補綴治療を行った1症例	日本口腔インプラント学会誌 2017; 30(4): e311-312	Case report
56	西 恭宏	義歯補綴科	特集:高齢者の口腔ケア 手技の基本 8. 義歯の取り扱い	Modern physician 2017 37(9) 967-970	Review
57	山口 孝二郎	口腔外科	特集慢性痛患者への漢方医療 顔面痛への漢方医療	麻酔 2017July 66 巻7号:708-714	Review
58	山口 孝二郎	口腔外科	口腔顔面領域の慢性痛に対する漢方療法 -舌痛症、口内炎を中心に-	日本歯科東洋医学会雑誌 2017 August 36巻1・2号: 41-46	Review
59	山口 孝二郎	口腔外科	痛みと漢方治療 3. 三叉神経痛、顎関節症に対する漢方治療	ペインクリニック38巻 別冊秋号2017. October:s259-s303	Review
60	上川善昭、新田哲也	口腔外科	緩和ケアにおけるオーラルマネジメントとその実際	日本歯科医師会雑誌 Vol.70 (7), 6-10, 2017	Original Article

小計10件

61	岐部俊郎、西原一秀、淵上貴央、他	口腔顎顔面外科	当科における口唇裂・口蓋裂患者一次症例の30年間の臨床統計的観察	日本口腔外科学会雑誌 2017 May; 63(3): 140-147	Original Article
62	中村典史、野添悦郎、大河内孝子	口腔顎顔面外科	下顎智歯2回法抜歯術の術式と10年間の臨床成績	歯界展望 2017, June, 130:1051-1066	Review
63	大西峻、向井基、中目和彦、他	病理部	回腸切除後にビタミンB12欠乏性巨赤芽球性貧血をきたした2例	日本小児外科学会雑誌53巻2号 Page277-281(2017.04)	Case report
64	後藤優子、霧島茉莉、北菌育美、他	病理部	主に肺静脈に存在して心房まで到達する肺のグロームス腫瘍の一例 (A case of pulmonary glomus tumor with a main seat in the pulmonary vein and reached the atrium)	日本病理学会会誌. 2017;106(1):431	Case report
65	平木翼、山田壮亮、霧島茉莉、他	病理部	基底細胞腺腫、篩状亜型の1例	診断病理. 2017;34(2):102-5	Case report
66	北菌育美、平木翼、山田壮亮、東美智代、他	病理部	腸間膜Lipomaの1例	日本小児血液・がん学会雑誌. 2017;54(1):91	Case report
67	岩元一朗、沖利通、樋渡小百合、他	周産母子センター	FSH投与中に自然排卵し妊娠・分娩に至ったクロミフェン抵抗性の多嚢胞性卵巣症候群の1例	鹿児島産科婦人科学会雑誌・2018 Mar; 26:25-28	Case report
68	濱田朋紀、岩元一朗、永田真子、他	周産母子センター	当科における経腹的頸管縫縮術の工夫	鹿児島産科婦人科学会雑誌・2018 Mar; 26:10-12	Original Article
69	田口則宏、古川周平、吉田礼子、他	歯科総合診療部	地域歯科医療教育に求められるもの—プロフェッショナリズムとの関連を見据えて—	日本総合歯科学会雑誌2017,Oct;9:11-18	Original Article
70	小田耕平、井戸章雄	肝疾患相談センター	肝不全治療薬 肝不全用アミノ酸製剤、成分栄養剤	肝疾患治療マニュアル. 2017 Jun; 170-174	Others

小計10件

71	川村英樹、徳田浩一、川上雅之、他	医療環境安全部	鹿児島県医師会災害医療チームによる2016年熊本地震における避難所感染対策支援活動	日本環境感染学会誌 2017 32 (5): 282-290	Original Article
72	中村隼人、川村英樹、寺田晋作、他	医療環境安全部	急性呼吸促進症候群を呈したヒト・メタニューモウイルス感染症の一例	日本集中治療医学会雑誌 2018 25 (2) 139-140	Case report
73	岩永崇、福倉良彦、中条正典、他	臨床技術部	Multiband SENSEの臨床応用	Rad Fan. 2017 Vol.15 No.10 2-5	Review
74	宿里亜李沙、田中和彦、窪田恵美、他	臨床技術部	腎細胞癌根治述語20年で甲状腺内孤立性転移をきたした1例	日本臨床細胞学会九州連合会学会雑誌. 2017 Jul; 48:89-93.	Case report
75	宿里亜李沙、窪田恵美、竹下かおり、他	臨床技術部	前縦隔非定型的カルチノイドの1例	日本臨床細胞学会雑誌. 2017;56(Suppl.2):790	Case report
76	田中和彦、宿里亜李沙、窪田恵美、他	臨床技術部	子宮頸部腺様基底細胞癌(adenoid basal carcinoma)の1例	日本臨床細胞学会雑誌. 2017;56(Suppl.2):812	Case report
77	馬渡慎治、木屋尾祐太郎、奥好史、他	臨床技術部	Image guided radiotherapy における治療寝台回転の位置補正精度管理の検討	日本放射線技術学会誌 73 巻 (2017) 12 号 1231-1237	Others

小計7件

計77件

- (注) 1 当該医療機関に所属する医師等が前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 記載方法は、前項の「高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文」の記載方法に準じること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

3 高度の医療技術の開発及び評価の実施体制

(1) 倫理審査委員会の開催状況

① 倫理審査委員会の設置状況	有・無
② 倫理審査委員会の手順書の整備状況	有・無
・ 手順書の主な内容 研究計画立案後の審査承認までの流れについて	
③ 倫理審査委員会の開催状況	年 11 回

(注) 1 倫理審査委員会については、「臨床研究に関する倫理指針」に定める構成である場合に「有」に○印を付けること。
2 前年度の実績を記載すること。

(2) 利益相反を管理するための措置

① 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の設置状況	有・無
② 利益相反の管理に関する規定の整備状況	有・無
・ 規定の主な内容 利益相反の目的・定義、委員会の設置、指導、情報開示等	
③ 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の開催状況	年 12 回

(注) 前年度の実績を記載すること。

(3) 臨床研究の倫理に関する講習等の実施

① 臨床研究の倫理に関する講習等の実施状況	年 4 回
・ 研修の主な内容 第1回：倫理指針改正とその対応／臨床研究を適切に実施するために求められること 第2回：本学発のがんへのウイルス医薬の医師主導治験の状況と展望の紹介／未承認薬へのアクセス迅速化について 第3回：キーワードからみる研究計画書／計画書作成のポイント 第4回：サンプル数はどうする？ なお、研修会当日に参加できなかった職員のために、録画DVDの上映による研修会を実施した。	

(注) 前年度の実績を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1 研修の内容

医師として共通に求められている基礎的知識、技術、マナー等の修得を目指したいいわゆる初期臨床研修（2年間）を終了した医師は、その後も引き続き研修を行うことになるが、（各診療科により異なるが通算して概ね5～6年の研修期間）その間、各科の指導医のもと入院患者及び外来患者の診療に従事するとともに、症例検討会、抄読会並びに種々のカンファレンス等に参加することにより一層の研鑽を行うことはもとより、地域のメディカルセンターとしてより先端的な医療の開発、研究を行っているとともに、それぞれの専門的な高度の知識と技術の修得に努めている。

また、それぞれの科の標榜するための条件となるとと思われる各科関連学会の定める専門医、認定医の資格取得のための指導体制も十分に整っている。

その他、日進月歩の医学の世界において医師の生涯学習の観点から、地域の病院との連携を促進し地域医療の発展に寄与することを目的とした「研修登録医」制度を設け、本学医学部附属病院において病棟回診、症例検討会その他の研究会並びに患者の診療等に参加することを通じて、先端的な知識や技術を修得するために1年間の研修を行っている。

(注) 上記の研修内容は医師法及び歯科医師法の規定による臨床研修を終了した医師及び歯科医師に対する専門的な研修について記載すること。

2 研修の実績

上記研修を受けた医師数	86 人
-------------	------

(注) 前年度の研修を受けた医師の実績を記入すること。

3 研修統括者

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
大石 充	心臓血管内科	部門科長	28年	
井戸 章雄	消化器内科	部門科長	34年	
高嶋 博	脳神経内科	部門科長	28年	
石塚 賢治	血液・膠原病内科	部門科長	29年	
井上 博雅	呼吸器内科	部門科長	33年	
西尾 善彦	糖尿病・内分泌内科	部門科長	33年	
浅川 明弘	心身医療科	部門科長	24年	
吉浦 敬	放射線科	部門科長	29年	
下堂園 恵	リハビリテーション科	部門科長	29年	
金蔵 拓郎	皮膚科	部門科長	33年	
夏越 祥次	消化器外科	部門科長	37年	
井本 浩	心臓血管外科	部門科長	38年	
佐藤 雅美	呼吸器外科	部門科長	36年	
吉本 幸司	脳神経外科	部門科長	23年	
中川 昌之	泌尿器科	部門科長	37年	
谷口 昇	整形外科・リウマチ外科	部門科長	15年	
坂本 泰二	眼科	部門科長	33年	
黒野 祐一	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	部門科長	38年	
家入 里志	小児外科	部門科長	24年	
佐野 輝	神経科精神科	部門科長	37年	
河野 嘉文	小児科	部門科長	37年	
小林 裕明	産科・婦人科	部門科長	33年	
上村 裕一	麻酔科	部門科長	38年	

於保 孝彦	口腔保健科	部門科長	35年
宮脇 正一	矯正歯科	部門科長	30年
山崎 要一	小児歯科	部門科長	35年
西谷 佳浩	保存科	部門科長	22年
野口 和行	歯周病科	部門科長	32年
南 弘之	冠・ブリッジ科	部門科長	29年
西村 正宏	義歯補綴科	部門科長	24年
杉浦 剛	口腔外科	部門科長	27年
橋口 照人	検査部	部長	32年
垣花 泰之	集中治療部	部長	32年
古川 良尚	輸血・細胞治療部	部長	34年
谷本 昭英	病理部	部長	30年
田口 則宏	歯科総合診療部	部長	24年
川村 英樹	感染制御部門	部門長	18年

- (注) 1 医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。
- (注) 2 内科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。
- (注) 3 外科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

4 医師、歯科医師以外の医療従事者等に対する研修

① 医師、歯科医師以外の医療従事者に対する研修の実施状況（任意）

1) ・研修の主な内容 持続脳波モニタリング勉強会

・研修の期間・実施回数 1回/月

・研修の参加人数 20人

2) ・研修の主な内容 腎移植に関する研修

・研修の期間・実施回数 2回/年

・研修の参加人数 15人

3) ・研修の主な内容 泌尿器癌看護のマネージメント

・研修の期間・実施回数 1回/年

・研修の参加人数 15人

4) ・研修の主な内容 鹿児島県母性衛生学会

・研修の期間・実施回数 平成29年8月19日・1回

・研修の参加人数 145人

5) ・研修の主な内容 HIV感染者・エイズ患者の在宅医療・介護の環境整備事業

・研修の期間・実施回数 平成29年8月31日～9月22日・1回

・研修の参加人数 4人

② 業務の管理に関する研修の実施状況（任意）

1) ・研修の主な内容 新規放射線取扱者教育訓練

・研修の期間・実施回数 2回/年

・研修の参加人数 200人

2) ・研修の主な内容 放射線取扱者再教育訓練

・研修の期間・実施回数 1回／年

・研修の参加人数 100人

③ 他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況

1) ・研修の主な内容 小児血液がん診療

・研修の期間・実施回数 1回／半年

・研修の参加人数 1人

(注) 1 高度の医療に関する研修について、前年度実績を記載すること。

(注) 2 「③他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況」については、医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院についてのみ記載すること。また、日本全国の医療機関に勤務する医療従事者を対象として実施した専門的な研修を記載すること。

		保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一一条の十一第二項第一号から第三号までに掲げる事項	院内感染対策のための指針の策定状況	医務課
		院内感染対策のための委員会の開催状況	医務課
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	医務課
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	医務課
		医薬品安全管理責任者の配置状況	医務課
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部
		医療機器安全管理責任者の配置状況	医務課
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	臨床技術部
		医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	臨床技術部
医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	臨床技術部		

		保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第九条の二十の二第二項第一号から第十三号まで及び第十五条の四各号に掲げる事項	医療安全管理責任者の配置状況	医務課
		専任の院内感染対策を行う者の配置状況	医務課
		医薬品安全管理責任者の業務実施状況	薬剤部
		医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	医務課
		診療録等の管理に関する責任者の選任状況	医療情報部
		医療安全管理部門の設置状況	医務課
		高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況	医務課
		未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況	薬剤部
		監査委員会の設置状況	総務課
		入院患者が死亡した場合等の医療安全管理部門への報告状況	医務課
		他の特定機能病院の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況	総務課 医務課
		当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医務課
		医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付けるための窓口の状況	総務課
		職員研修の実施状況	総務課
		管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況	総務課 医務課
		管理者が有する権限に関する状況	総務課
管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況	総務課		
開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の整備状況	総務課		

(注)「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。また、診療録を病院外に持ち出す際に係る取扱いについても記載すること。

(様式第 6)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

計画・現状の別	1. 計画	②. 現状
閲覧責任者氏名	病院長 夏越 祥次	
閲覧担当者氏名	総務課長 白坂 義浩	
閲覧の求めに応じる場所	総務課	
閲覧の手続の概要		
閲覧場所を設置しており、要求があった場合には対応できる状況である。		

(注) 既に医療法施行規則第 9 条の 20 第 5 号の規定に合致する方法により記録を閲覧させている病院は現状について、その他の病院は計画について記載することとし、「計画・現状の別」欄の該当する番号に○印を付けること。

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	0件
閲覧者別	医 師	延 0件
	歯 科 医 師	延 0件
	国	延 0件
	地方公共団体	延 0件

(注) 特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入する必要はないこと。

規則第 1 条の 11 第 1 項各号に掲げる医療に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有・無
<ul style="list-style-type: none"> ・ 指針の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> (1) 趣旨 (2) 安全管理に関する基本的考え方 (3) 組織に関する基本事項 (4) 医療に係る安全管理のための職員研修に関する基本方針 (5) 事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策に関する基本方針 (6) 医療事故等発生時の対応に関する基本方針 (7) 医療従事者と患者との間の情報の共有に関する基本方針 (8) 患者等からの相談への対応に関する基本方針 (9) その他医療安全の推進のために必要な基本方針 	
② 医療に係る安全管理のための委員会の設置及び業務の状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 設置の有無 (有・無) ・ 開催状況：年 1 2 回 ・ 活動の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> (1) 医療の安全管理体制の確保に関する事 (2) 医療に関する安全管理指針に関する事 (3) 医療事故等の防止対策の検討及び推進に関する事 (4) 医療の安全管理のための教育及び研修に関する事 (5) その他医療の安全管理等に関する事 	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年13回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の内容 (すべて)： <ul style="list-style-type: none"> (1) 「安全文化の醸成と院内報告制度の活性化」 (2) 「安心・安全な高度医療提供のためみんなで取り組もう！医療安全活動」 (3) 「除細動器と人工呼吸器の安全管理」 (4) 「医療関連機器圧迫創傷の予防と管理」 (5) 「医療安全と感染対策に向けた英知の結集」 (6) 「麻薬の取扱い・管理について」 (7) 「医療の質を高めるインフォームド・コンセント」 (8) 「医薬品の血管外漏出について」 (9) ①「医療安全と患者接遇」、②「信頼される医療サービス提供のためのマナーコミュニケーション」 (10) 「第13回 CT・MRI検査に関する医療安全講習会」 (11) 「インスリン製剤の適正使用」 (12) 「RRSシンポジウムーチーム医療の架け橋ー」 (13) ①「医療ガスについて」、②「呼吸管理におけるモニタリングの役割」 <p>※ 研修会当日に参加できなかった職員のために、録画 DVD による研修会及び e-Learning による研修を別途実施した。その他に新規採用者・中途採用者向けの研修を実施した。</p>	
④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療機関内における事故報告等の整備 (有・無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> (1) 医療環境の変化に対応するため、医療安全管理マニュアルを随時改訂した (2) 医療安全活動強化月間 (6月・11月) を設定 	

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第1号に掲げる院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有・無
<ul style="list-style-type: none"> ・ 指針の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> I 趣旨 II 院内感染対策の基本指針 III 組織体制 IV 職員の教育及び研修 V 報告に関する基本方針 VI 対応に関する基本方針 VII その他 VIII 閲覧 	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年12回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 活動の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> 本院における院内感染対策に関する発生状況や抗菌薬使用量を含む実施状況の情報共有、および問題の原因分析、改善策を審議し、諸施策等の策定等を行う。 	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年8回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の内容（すべて）： <ul style="list-style-type: none"> 第1回 「感染情報の見方」 第2回 「結核」 第3回 「手術室での感染対策」 第4回 「医療安全と感染対策に向けた英知の結集」 第5回 「手指衛生」 第6回 「微生物検査の流れ」 第7回 「冬季流行疾患への対応 -インフルエンザ」 第8回 「感染性胃腸炎」 <p>※研修会当日に参加できなかった職員のために、録画上映による研修会及びe-Learningによる研修を別途実施している。その他に新規採用者・中途採用者・清掃業者・調理従事者向けの研修会を実施した。</p>	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 病院における発生状況の報告等の整備 (有・無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> (1) 院内感染発生時に部署から感染制御部門に報告 (2) 注意すべき病原体の検出時に検査部からICTに報告 (3) 週1回検査部から病棟別主要注意菌検出状況をまとめた感染情報レポートをICTに提出 (4) 重大な感染事例の発生時は感染制御部門から病院長に報告 (5) ICTスタッフ会議、感染症対策委員会において報告 (6) リスクマネージャー連絡会議を通じて院内に周知 	

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第2号に掲げる医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品安全管理責任者の配置状況	○・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年14回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <p>2017/4/4 新規採用者ガイダンス 73人 2017/4/5 新規採用者ガイダンス（歯科） 37人 2017/4/7 研修医ガイダンス 40人 2017/4/25 イヌリンクリアランスについて 7西病棟看護師 10人 2017/5/25 看護部新規採用者研修会 64人 2017/6/14 9東病棟薬剤勉強会 9東病棟看護師 13人 2017/7/12 医療安全・院内感染対策合同研修会（麻薬関連） 158人 2017/8/17 医療安全・院内感染対策合同研修会（血管外漏出） 177人 2017/10/4 IBDチームでの講義 IBDチーム、C7病棟看護師 30人 2017/10/15 骨髄移植で使用する薬剤 8西・7西病棟看護師 25人 2017/11/7 医療安全・院内感染対策合同研修会（インスリン製剤） 62人 2017/11/28 メントレキセート大量療法について 7西病棟看護師 7人 2018/1/22 入院処方区分について 歯科医師 10人 2018/2/27 薬物相互作用と服薬アドヒアランス C4病棟看護師 14人</p>	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<p>・ 手順書の作成 (○・無)</p> <p>・ 手順書の内容に基づく業務の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 医薬品の採用について 2 医薬品の購入について 3 調剤室における医薬品の管理について 4 病棟・各部門への医薬品の供給について 5 外来患者への医薬品使用について 6 在宅患者への医薬品使用について 7 病棟における医薬品の管理について 8 入院患者への医薬品使用について 9 医薬品情報の収集・管理・提供について 10 手術・麻酔部門について 11 救急部門・集中治療室について 12 輸血・細胞治療部門について 13 生命維持管理装置領域について 14 臨床検査部門、画像診断部門について 15 歯科領域について 16 他施設との連携について 17 事故発生時の対応について 18 教育・研修について 	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<p>・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (○・無)</p> <p>・ 未承認等の医薬品の具体的な使用事例（あれば）： 疑義照会を行ったが、適応外で使用する事となった具体的な使用事例として、下記に示す。 ・ ファモチジン錠は、添付文書上、$30 \geq \text{Ccr}$の腎機能低下患者では1回20mg2～3日に1回または1回10mg1日1回の投与法が推奨されるが、$\text{Ccr} 28.4$の患者に症状緩和が見られるまで1週間程度、1回10mg1日2回で使用することとなった。 ・ ザイザル錠は、添付文書上、$\text{Ccr} : 50 \sim 79$の腎機能低下患者では1日1回2.5mgの投与法が推奨されるが、$\text{Ccr} 72.5$の患者に症状緩和が見られないとのことで、1日1回5mgで使用することとなった。 ・ ヘルベッサールカプセルは1日1回製剤であるが、入院前より継続しているとのことで、1日2回</p>	

で使用することとなった。
未承認新規医薬品の使用については、未承認新規医薬品等評価部門を設置し、その使用の適否、使用条件等について決定している。平成29年度は評価会議2回（3品目）、平成30年度は会議1回（79品目）を行った。

・ その他の改善のための方策の主な内容：

医薬品情報の周知状況の確認を徹底するために、DIニュースについては、毎月の発行分を医療安全委員会に報告し、リスクマネージャ連絡会議にて全職員への再周知を依頼し、各部署より情報確認済み署名記載用紙を回収している。

緊急安全性情報（イエローレター）ならびに安全性速報（ブルーレター）が発出された場合には、院内通知文書や院内メール、院内イントラネット、病棟担当薬剤師による情報提供、当該医薬品を使用している患者カルテへの記載を行う等、様々な方法で情報提供を行い、情報発信時に情報確認済み署名記載用紙を回覧し、回収することとしている。ただし、平成29年度は緊急安全性情報ならびに安全性速報は発出されていない。

適応外使用として臨床研究倫理委員会にて承認された医薬品ならびに化学療法委員会にて承認された医薬品については、該当診療科の使用ならびに該当患者への使用を確認している。一般医薬品については、これまで、適応外処方については疑義照会として実施し、また、禁忌については、電子カルテ上での警告表示ならびに疑義照会として実施し処方変更を依頼してきた。平成28年10月より、適応外、禁忌等の処方について、疑義照会として医師へ確認していた内容について、別途、その内容を記録することとした。あわせて、医薬品安全管理責任者へ報告し、医薬品安全管理責任者が必要だと判断した場合は、該当医師へ適切な指導を行うこととした。

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第9条の20の2第1項第1号から第13号に掲げる事項の実施状況

① 医療安全管理責任者の配置状況	①・無
<p>・責任者の資格 (医師・歯科医師) ・医療安全管理責任者による医療安全管理部門、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者の統括状況</p> <p>医療に関する安全管理のための指針を平成28年10月1日一部改訂し、医療安全管理責任者に病院長補佐(安全管理担当:医科)を充て、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者を統括させることとしている。</p>	
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	② (9名)・無
<p>③ 医薬品安全管理責任者の業務実施状況</p> <p>・医薬品に関する情報の整理・周知に関する業務の状況</p> <p>医薬品情報室にて情報を収集・整理し、DI ニュースとして発行している(平成29年度のDI ニュース発行回数:74回)。また、平成28年10月より、1ヶ月の周知状況を医療安全委員会に報告し、リスクマネージャ連絡会議にて全職員への再周知を依頼し、各部署より情報確認済み署名記載用紙を回収している。</p> <p>緊急安全性情報(イエローレター)ならびに安全性速報(ブルーレター)が発出された場合には、情報発信時に情報確認済み署名記載用紙を回覧し、回収している。(ただし、平成29年度は緊急安全性情報ならびに安全性速報は発出されていない)</p> <p>医薬品・医療機器安全情報に掲載されている医薬品については、当該医薬品を投与している患者を抽出し、当該医薬品を投与している患者の主治医に対し、病棟担当薬剤師より、電子カルテにて情報提供を行い、該当患者一覧表を保存している。(平成29年度の医薬品・医療機器安全情報の該当医薬品の処方医への周知:10回、297件)</p> <p>・未承認等の医薬品の使用に係る必要な業務の実施状況</p> <p>適応外使用として臨床研究倫理委員会にて承認された医薬品ならびに化学療法委員会にて承認された医薬品については、該当診療科の使用ならびに該当患者への使用を確認している。その他の医薬品については、適応外処方については疑義照会として実施し、また、禁忌については、電子カルテ上で警告表示している。警告を突破して禁忌薬が処方された場合は、疑義照会を実施し、処方変更を依頼している(警告を突破して禁忌薬が処方された場合、調剤支援システムにより、処方箋に禁忌薬が処方されている旨が出力されるため、初回出力時に疑義照会している。禁忌であることを了解して処方継続する場合、次回から処方箋に確認済みであることが出力されるように設定している)。平成28年10月より、適応外、禁忌等の処方について、疑義照会として医師へ確認していた内容について、</p>	

規則第1条の11第2項第3号に掲げる医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器安全管理責任者の配置状況	① 有・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年2回
・ 研修の主な内容： 人工心肺装置（補助循環装置を含む）研修会（5月、12月） 人工呼吸器研修会（5月、12月） 血液浄化療法装置（6月、1月） 除細動器研修会（4月、5月） 閉鎖式保育器研修会（5月、3月）	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
・ 医療機器に係る計画の策定（① 有・無） ・ 機器ごとの保守点検の主な内容： 人工心肺装置及び補助循環装置（年1回） 人工呼吸器（年1回） 血液浄化療法装置（年1回） 除細動器（年1回） 閉鎖式保育器（年1回）	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる未承認等の医療機器の使用の状況その他の情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
・ 医療機器に係る情報の収集の整備（① 有・無） ・ 未承認等の医療機器の具体的な使用事例（あれば）： ・ その他の改善のための方策の主な内容： ・ MEセンター掲示板への掲示（3枚） 一般名類似による薬剤取り違えについて（平成29年9月） 開放式脳室ドレナージ回路使用時の注意について（平成29年12月） 誤接続防止コネクタの導入について（平成30年3月） ・ 全医療職員を対象とした講習会（2回/年） 除細動器～適用と操作方法～、人工呼吸器～使用上の注意点～ 人工呼吸器管理について・医療ガス	

(注) 前年度の実績を記入すること。

<p>別途、その内容を記録し、医薬品安全管理責任者へ報告している。医薬品安全管理責任者が必要だと判断した場合は、該当医師へ適切な指導を行う。</p> <p>・担当者の指名の有無 (有)・無)</p> <p>・担当者の所属・職種： (所属：薬剤部，職種 薬剤部長)</p>	
④ 医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	(有)・無
<p>・医療の担い手が説明を行う際の同席者、標準的な説明内容その他説明の実施に必要な方法に関する規程の作成の有無 (有)・無)</p> <p>・説明等の実施に必要な方法に関する規程に定められた事項の遵守状況の確認、及び指導の主な内容 インフォームドコンセント委員会において、診療科より提出された説明書がインフォームドコンセントマニュアルの規定にそったものであるかの確認、審査し、不足追加部分を指摘、訂正を促す。最終盤を委員会で承認し、院内共通の文書として登録している。</p>	
⑤ 診療録等の管理に関する責任者の選任状況	(有)・無
<p>・診療録等の記載内容の確認、及び指導の主な内容： 診療録の記載方法は、診療録管理委員会で作成した「診療録記入マニュアル」に提示している。診療録の記載内容の確認は、診療録記入マニュアルをもとに、同委員会で作成した「診療録監査マニュアル」に従い、診療録を医療情報管理部診療情報管理部門で監査している。ピアレビューは、診療録監査ワーキングにおいて多職種で監査している。監査結果は、診療センター長等会議、病院運営会議、病棟医長師長等会議、診療録管理委員会、各診療科へ通知している。</p>	
⑥ 医療安全管理部門の設置状況	(有)・無
<p>・所属職員：専従（４）名、専任（ ）名、兼任（２）名 うち医師：専従（１）名、専任（ ）名、兼任（２）名 うち薬剤師：専従（１）名、専任（ ）名、兼任（ ）名 うち看護師：専従（２）名、専任（ ）名、兼任（ ）名</p> <p>(注) 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること</p> <p>・活動の主な内容： (1) 医療安全を確保するための改善方策に関すること (2) 医療安全に係る教育・研修事業の企画及び運営に関すること (3) インシデントの分析に関すること (4) インシデントに関する診療録や看護記録等への記載状況の確認・指導に関すること (5) 患者や家族への説明等の対応状況の確認・指導に関すること</p>	

- (6) 医療安全管理委員会の円滑な運営に関すること
- (7) 医療安全に係る連絡調整に関すること
- (8) その他医療安全対策の推進に関すること

・医療安全管理委員会において定める医療安全に資する診療内容及び従事者の医療安全の認識についての平時からのモニタリングの具体例
月3回の医療安全ラウンドにおいて各部署の従事者に対して、あらかじめ医療安全に関する質問事項を決定し、回答や提示状況を確認し、モニタリングしている。モニタリング状況は、医療安全管理委員会で報告し、全部署のリスクマネージャー会議でも周知している。

※平成二八年改正省令附則第四条第一項及び第二項の規定の適用を受ける場合には、専任の医療に係る安全管理を行う者が基準を満たしていることについて説明すること。

※医療安全管理委員会において定める医療安全に資する診療内容及び従事者の医療安全の認識についての平時からのモニタリングの具体例についても記載すること。

⑦ 高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況

- ・前年度の高難度新規医療技術を用いた医療の申請件数（4件）、及び許可件数（4件）
- ・高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の設置の有無（・無）
- ・高難度新規医療技術を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（・無）
- ・活動の主な内容：

部門科等の長から申請が行われた内容を確認するとともに、高難度新規医療技術評価委員会に対して当該技術の提供の適否、実施を認める条件等について意見を求め、その意見を踏まえ適否等について決定し、部門科等の長に対し適否結果通知書により通知している。

実施された高難度新規医療技術に関し、定期的に、及び術後に患者が死亡した場合その他必要な場合には、診療録等の記載内容の確認を行い、従業者の遵守状況の確認を行っている。

高難度新規医療技術の提供の適否等について決定した時及び従業者の遵守状況を確認した時は、病院長に報告している。

- ・規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（・無）
- ・高難度新規医療技術評価委員会の設置の有無（・無）

⑧ 未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況

- ・前年度の未承認新規医薬品等を用いた医療の申請件数（3件）、及び許可件数（3件）
- ・未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の設置の有無（・無）
- ・未承認新規医薬品等を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び未承認新規医薬品等の使用条件を定め使用の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（・無）

<p>・活動の主な内容：</p> <p>平成 29 年度の審議事例：3 件</p> <p>平成 30 年度の審議事例：79 件</p> <p>・ 規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（<input checked="" type="radio"/>・無）</p> <p>・ 未承認新規医薬品等評価委員会の設置の有無（<input checked="" type="radio"/>・無）</p>
<p>⑨ 入院患者が死亡した場合などの医療安全管理部門への報告状況</p> <p>・ 入院患者が死亡した場合の医療安全管理部門への報告状況：年 203 件</p> <p>・ 上記に掲げる場合以外の場合であって、通常の経過では必要がない処置又は治療が必要になったものとして特定機能病院の管理者が定める水準以上の事象が発生したとき当該事象の発生の事実及び発生前の状況に関する医療安全管理部門への報告状況：年 77 件</p> <p>・ 上記に関する医療安全管理委員会の活動の主な内容</p> <p>A. 上記報告の状況の確認及び管理者への報告</p> <p>B. 概要の確認、調査・分析、改善方策の立案・検討を行う</p>
<p>⑩ 他の特定機能病院等の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況</p> <p>・ 他の特定機能病院等への立入り（<input checked="" type="radio"/>（病院名：千葉大学医学部附属病院）・無）</p> <p>・ 他の特定機能病院等からの立入り受入れ（<input checked="" type="radio"/>（病院名：大阪大学医学部附属病院）・無）</p> <p>・ 技術的助言の実施状況</p> <p>安全管理部門主導の M&M を実施し、記録（議事録）を残すとともに、病院としても安全管理部門で把握できるようにした。</p>
<p>⑪ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況</p> <p>・ 体制の確保状況</p> <p>患者相談窓口を設置し、寄せられた相談内容を把握、規則によって定められた者による医療相談室会議を開催し、対応するとともに、関係部署、安全部門へも協力を要請している。</p>
<p>⑫ 職員研修の実施状況</p> <p>・ 研修の実施状況</p> <p>新規で採用された医師、歯科医師、医療職員及び事務職員を対象に、4 月に初任者研修を実施し、受講させている。中途採用の職員に対しても、毎月 DVD による研修を実施し、受講させている。</p>

(注) 前年度の実績を記載すること（⑥の医師等の所属職員の配置状況については提出年度の10月1日の員数を記入すること）

⑬ 管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況

・研修の実施状況

第 30 回 国立大学附属病院医療安全管理協議会総会 (H29. 5)

第 31 回 国立大学附属病院医療安全管理協議会総会 (H29. 10)

医療安全に関するワークショップ (H29. 11)

平成 29 年度特定機能病院管理者研修 (H29. 12・H30. 3)

(注) 前年度の実績を記載すること (⑥の医師等の所属職員の配置状況については提出年度の10月1日の員数を記入すること)

規則第 7 条の 2 第 1 項各号に掲げる管理者の資質及び能力に関する基準

管理者に必要な資質及び能力に関する基準
<ul style="list-style-type: none">・ 基準の主な内容 平成 29 年 4 月 1 日に管理者が変更となり、次期管理者へ交代するまでに 3 年の任期があるため、平成 31 年 3 月までに、選考委員会の設置等について検討中である。・ 基準に係る内部規程の公表の有無 (有・<input checked="" type="radio"/>無)・ 公表の方法 検討中

規則第 7 条の 3 第 1 項各号に掲げる管理者の選任を行う委員会の設置及び運営状況

前年度における管理者の選考の実施の有無	有・ <input checked="" type="radio"/> 無
<ul style="list-style-type: none">・ 選考を実施した場合、委員会の設置の有無 (有・無)・ 選考を実施した場合、委員名簿、委員の経歴及び選定理由の公表の有無 (有・無)・ 選考を実施した場合、管理者の選考結果、選考過程及び選考理由の公表の有無 (有・無)・ 公表の方法	

管理者の選任を行う委員会の委員名簿及び選定理由

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	特別の関 係
				有・無
				有・無
				有・無
				有・無

規則第 9 条の 2 3 第 1 項及び第 2 項に掲げる病院の管理及び運営を行うための合議体の
設置及び運営状況

合議体の設置の有無		①・無	
<ul style="list-style-type: none"> ・合議体の主要な審議内容 <ol style="list-style-type: none"> (1) 経営効率向上のための基本戦略及び対外基本戦略に関する事項 (2) 中期目標・中期計画・年度計画に関する事項 (3) 予算配分案の策定 (4) 診療等の評価、職員の評定 (5) その他病院長が必要と認める事項 ・審議の概要の従業者への周知状況 診療センター長等会議で各診療科に伝達している。 ・合議体に係る内部規程の公表の有無 (①・無) ・公表の方法 鹿児島大学ホームページにより公表している。 ・外部有識者からの意見聴取の有無 (有・①) 			
合議体の委員名簿			
氏名	委員長 (○を付す)	職種	役職
夏越 祥次	○	医師	病院長
坂本 泰二		医師	副病院長 (医科)
山崎 要一		歯科医師	副病院長 (歯科)
高嶋 博		医師	副病院長 (特命)、人事戦略室長
井本 浩		医師	副病院長 (特命)
大石 充		医師	副病院長 (特命)、病院長補佐 (安全管理)
宇都 由美子		看護師	副病院長 (特命)、医療情報部長
又木 雄弘		医師	副病院長 (特命)
西村 正宏		歯科医師	副病院長 (特命)
佐藤 雅美		医師	病院長補佐 (教育・研修)
南 弘之		歯科医師	病院長補佐 (教育・研修)
杉浦 剛		歯科医師	病院長補佐 (安全管理)
井戸 章雄		医師	病院長補佐 (診療・研究)
野口 和行		歯科医師	病院長補佐 (診療・研究)
吉浦 敬		医師	放射線診療センター長
中川 昌之		医師	腎臓・泌尿器センター長
橋口 照人		医師	検査部長
熊本 一朗		医師	人間環境学講座 医療システム情報学教授
家入 里志		医師	地域医療連携センター長
垣花 泰之		医師	救命救急センター長、集中治療部長

(様式 6-3)

松永 明		医師	手術部長
武田 泰生		薬剤師	薬剤部長
市村 カツ子		看護師	看護部長
弓場 裕之		理学療法士	臨床技術部長
林 勝幸		事務職員	事務部長

規則第 15 条の 4 第 1 項第 1 号に掲げる管理者が有する権限に関する状況

管理者が有する病院の管理及び運営に必要な権限

- ・ 管理者が有する権限に係る内部規程の公表の有無 (・ 無)
- ・ 公表の方法
鹿兒島大学ホームページにより公表している。
- ・ 規程の主な内容
病院長は、病院の管理運営、経営等全ての事項について、意志決定の最終責任者として、業務を掌理する。
- ・ 管理者をサポートする体制 (副院長、院長補佐、企画スタッフ等) 及び当該職員の役割
副病院長
【役割】医科全般担当、歯科全般担当
病院長補佐
【役割】教育・研修 (医科) 担当、教育・研修 (歯科) 担当、安全管理 (医科) 担当、安全管理 (歯科) 担当、診療・研究 (医科) 担当、診療・研究 (歯科) 担当
- ・ 病院のマネジメントを担う人員についての人事・研修の状況

規則第 15 条の 4 第 1 項第 2 号に掲げる医療の安全の確保に関する監査委員会に関する
状況

監査委員会の設置状況					①・無
<p>・ 監査委員会の開催状況：年 2 回</p> <p>・ 活動の主な内容：</p> <p>・ 監査委員会の業務実施結果の公表の有無（①・無）</p> <p>・ 委員名簿の公表の有無（①・無）</p> <p>・ 委員の選定理由の公表の有無（①・無）</p> <p>・ 監査委員会に係る内部規程の公表の有無（①・無）</p> <p>・ 公表の方法： 鹿児島大学ホームページにより公表している。</p>					
監査委員会の委員名簿及び選定理由（注）					
氏名	所属	委員長 （○を付す）	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
綾部 貴典	宮崎大学 医学部附属病院	○	医療に係る安全管理に関する識見を有する者	無	1
玉利 尚大	玉利法律事務所		法律に関する識見を有する者	無	1
三好 綾	NPO 法人 がんサポートか ごしま		医療を受ける者	無	2

(注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1~3のいずれかを記載すること。

1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者（1.に掲げる者を除く。）
3. その他

規則第 15 条の 4 第 1 項第 3 号イに掲げる管理者の業務の執行が法令に適合することを確保するための体制の整備に係る措置

管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況

・体制の整備状況及び活動内容

(1) 業務監査

- ①労働基準法、労働安全衛生法等の遵守状況に関する監査（実地監査）／実施時期 平成30年11月1日～平成30年11月30日
- ②個人情報保護法等の遵守状況に関する監査（実地監査）／実施時期 平成30年10月1日～平成30年10月31日
- ③公文書等の管理に関する法律等の遵守状況に関する監査（実地監査）／実施時期 平成30年10月1日～平成30年10月31日
- ④情報セキュリティに関する監査（実地監査）／実施時期 平成30年4月2日～平成31年3月29日

(2) 会計監査

- ①契約、旅費、報酬、現金管理状況、公的研究費の会計処理状況に関する監査／実施時期（書面監査）平成30年6月1日～平成30年7月31日（実地監査）平成30年9月3日～平成30年9月28日

・ 専門部署の設置の有無（有・無）

・ 内部規程の整備の有無（有・無）

・ 内部規程の公表の有無（有・無）

・ 公表の方法

鹿児島大学ホームページにより公表している。

規則第 15 条の 4 第 1 項第 3 号ロに掲げる開設者による業務の監督に係る体制の整備に係る措置

開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の状況			
<ul style="list-style-type: none">・ 病院の管理運営状況を監督する会議体の体制及び運営状況 ・ 会議体の実施状況 (年6回)・ 会議体への管理者の参画の有無および回数 (<input checked="" type="radio"/>有・無) (年1回)・ 会議体に係る内部規程の公表の有無 (<input checked="" type="radio"/>有・無)・ 公表の方法 鹿児島大学ホームページにより公表している。			
病院の管理運営状況を監督する会議体の名称：			
会議体の委員名簿			
氏名	所属	委員長 (○を付す)	利害関係
			有・無
			有・無
			有・無
			有・無

(注) 会議体の名称及び委員名簿は理事会等とは別に会議体を設置した場合に記載すること。

規則第 15 条の 4 第 1 項第 4 号に掲げる医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付ける窓口の状況

窓口の状況
<ul style="list-style-type: none">・ 情報提供を受け付けるための窓口の設置の有無 (<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無)・ 通報件数 (年 0 件)・ 窓口に提供する情報の範囲、情報提供を行った個人を識別することができないようにするための方策その他窓口の設置に関する必要な定めの有無 (<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無)・ 窓口及びその使用方法についての従業者への周知の有無 (<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無)・ 周知の方法 大学ホームページ及び病院ホームページにより周知している。

(様式第7)

専門性の高い対応を行う上での取組みに関する書類（任意）

1 病院の機能に関する第三者による評価

① 病院の機能に関する第三者による評価の有無	有・ <input checked="" type="radio"/> 無
・評価を行った機関名、評価を受けた時期	

(注) 医療機能に関する第三者による評価については、日本医療機能評価機構等による評価があること。

2 果たしている役割に関する情報発信

① 果たしている役割に関する情報発信の有無	<input checked="" type="radio"/> 有・無
・情報発信の方法、内容等の概要 病院概要及びホームページにおいて、法令による医療機関の承認、公費負担医療等指定状況等について公表している。 また、ホームページにおいて、各診療科の特色を発信している。	

3 複数の診療科が連携して対応に当たる体制

① 複数の診療科が連携して対応に当たる体制の有無	<input checked="" type="radio"/> 有・無
・複数の診療科が連携して対応に当たる体制の概要 救急患者及び複数疾患等においては、診療科を越えて連携して治療にあたっている。	

